

統計茨城

目次

観 梅	
家計調査はどう利用されているか	1～2
商業統計調査結果(37年)	3～11
工業統計調査結果(その2)	12～17
交通量調査結果	18～27
学校保健統計調査結果(37年)	28～41
学校施設統計調査結果の概要(37年)	42～44
毎月勤労統計調査結果速報(11月分)	45～47
茨城県産業総合指数	48
統計資料案内	49
閲覧統計から	50～51
経済スポット	52～53
市町村の横顔(新利根村・桜川村)	54～55
グラフにみる	56
人間雑話(9)	塚本勝義 57

茨城県総務部統計課
茨城県統計協会

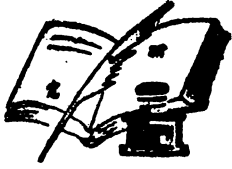


観 梅

2月24日は水戸市偕楽園の第1観梅デー、朝から晴あがり昼ごろには気温も15度近くになり春を思わせる天候だった。

この日観梅列車や観光バスなどで訪れた観梅客はざつと8万人で、園内は人の海といったほうがあたっているほどのにぎわいぶり、かんじんの梅はまだほんのちよつびり咲いただけ、それでも芝生にゴザを敷き1升びんと重箱をかこんで梅見の酒を楽しんでいる人達も多かつた。

心配された駐車場も公園付近に特設駐車場をつくりさほどの混乱もなかつたようだ。しかし最近のカーブームからライトバン級の小型のものを含めた自動車は数えきれないほどで、一級国道沿いや千波湖畔にところせましとばかり並んでいた。これらの自動車のうち本当に自家用車といえるものは少ないように見受けられ、平素は営業用に使っているのが大部分だろう。それもそのはず37年8月に経済企画庁が行なつた消費動向予測調査の結果によれば、乗用車を所有している世帯は僅かに全体の6%で、まだまだ自家用車で家族旅行を楽しむ時代には遠いようだ。



家計調査はどう利用されているか

家計調査は昭和25年以来全国28都市 4,200世帯を対象に実施されてきましたが、昨年7月以来調査市町の拡大によつて、全国174市町村、8,064世帯について実施されるようになりました。本県においても、水戸、古河、友部の各地区 132世帯のご協力を頂いて調査を実施しています。

家計調査にご協力を頂いている世帯のご苦勞がどのように利用されているか、いくつかの点を書いてみましょう。

1 国民の生活水準を測る

働きたい人は誰でも職がえられ、そして国民の生活を一層豊かにすること、これが政治だと思ひます。完全雇用と生活水準の向上が政治の目的だということになります。そのためには、国民の生活水準がどの程度なのかを毎年つかんでおかねばなりません。そのための資料として家計調査の結果が中心となります。

そのはかり方を簡単に説明しますと、昭和35年とのかの都市の平均生活費は、1カ月当たり3万1千円でしたが、36年には3万4千円にふえ、増加率約10%ということになります。そこでもし物価が兩年とも全く同じだとすれば、生活の内容は金額の増えた率だけ良くなつているといえますが、物価が昇つていればその分だけ割引きしなければなりません。36年消費者物価は、昭和35年に比べて約5%上つています。そこで生活費の指数110をこの物価指数105で割つた105を、消費水準指数と呼び、これが生活水準の指標の1つとなるわけです。36年は前年に比べ実質的に約5%良くなつていっているということです。

参考までに、昭和30年を100とした消費水準指数をみますと次のとおりで、36年までの6年間に、生活は30%良くなつてきています。

30年	31年	32年	33年	34年	35年	36年
100	103	107	114	120	125	130

こういう見方は、単に生活費総額についてだけでなく、食料費、被服費などの費目別にも、また高所得層や低所得層などにもいろいろ計算し分析されます。

また小都市や町村では
一大都市にくらべて—生活費は2割安い

家計調査(昭和36年9、10月平均)でみると、1カ月

の生活費は大都市の3万5千円から町村の2万7千円まで都市の大小によつて20%から25%の開きがある。

食料費では、主食はほとんど差はないが、副食費や外食費が大きく開いているため、町村では大都市の70%となつている。

2 物価の変動の影響を測る

ここ2、3年物価がかなり上つて私たちの生活に大きな影響を与えています。この物価の変動をはかる統計は消費者物価指数ですが、これを計算する場合にも、家計調査は大きな働きをしています。

いろいろの商品の価格の動きはいつも同一ではありません。たとえば米はこんどの改訂で12%高くなりましたが、理髪料は昨年に比べ20%も上つています。物価指数は各商品の値上がりの率を平均して出すわけですが、その場合、米の値上げと理髪料金の値上げでは生活に与える影響はかなりちがいます。かりに生活費が毎月4万円として、その1割の4,000円で米を買い、200円の理髪に1回行くとします。米の12%の値上げで生活費は480円ふえますが、理髪の20%の値上げは40円の増加です。したがつて、生活費全体に対し、米の12%の値上げは1.2%ひびき、理髪料金の20%の値上げは0.1%しかひびかないこととなります。

物価指数はこうして計算されますが、その場合各商品の購入がどのくらいあるかは家計調査の結果を使うわけです。また今度の米価の値上げや電力料金、バス料金等の改訂の場合にも、つねに家計調査の資料をもとに、生活への影響度を検討します。

3 将来の需要を測る

エンゲルの法則というものをご存知のことと思ひます。収入がふえるに従つて、生活費の中に占める食料費の割合は、次第に減少するという法則です。

これは収入が増えた場合、食料の購入金額もふえますが、そのふえる率は収入の増加率より小さいからです。逆に被服費とか家具などの耐久消費財の生活費に占める割合は収入増加とともにだんだんふえて行きます。このように各費目、さらに各商品の購入が、所得がふえた場合どう変化するかは、ながい年の家計調査の資料がありますと、計算することができます。

たとえば、家計調査からはじいた係数でみますと、収

商業統計調査結果報告

(昭和 37 年)

商工統計係

調査の概要

商業統計調査は、統計法による指定統計である商業統計を作成するために通商産業省の行なっている基本調査の一つで、昭和27年以降2年ごとに行なわれて、今回の調査はその第6回目にあたります。

この調査の目的は、全国の商店について、その分布状況ならびに商業活動の実態を明らかにすることであり、調査の種類は、甲調査、乙調査、丙調査の三つにわかれ甲調査は、法人組織の商店および常用従業者（雇人）を使用している個人経営の商店（飲食店を除く。）について行なった。

乙調査は、常用従業者を使用していない個人経営の商店（飲食店を除く。）について行なった。

丙調査は、飲食店について行なった。

調査の方法はいずれも調査員が対象店に調査票を配布して、申告者が自ら記入する自計方式によつて行なわれました。

この調査は昭和37年7月1日に行なわれたものであります。

結果の概要

1 甲及び乙調査の結果について

商店数

飲食店を除く県下の卸、小売などの商店数は、32,680で、前回（35年）にくらべ105、0.3%の増加を示している。その内訳を法人、個人別にみると、法人で325、11.1%の増加をみ、個人では220の減少を示している。

また常時従業者の規模別に商店数の動きをみると、個人経営の商店が減少をみたことから当然かも知れないが、常時従業者が1～2人までの商店が特に大巾な減少を示し、3～4人でも僅かに減少を示している。これに

対して、5人以上では全部増加を示しており、増加数の著しかつたのは、10～19人で119と大きく前回にくらべ増加している、また30～49人では80.4%と増加率ではトップである。

商店数を常時従業者の規模別にその構成割合をみると卸売業では1～2人が44.2%、3～4人24.0%と商店数の7割近くは1～4人という小規模の商店で占めており、50人以上の商店は僅かに0.2%あるだけである。小売業にいたつては、この傾向は益々激しくなり、1～2人という、家族従業者のみで経営しているような商店が、28,811もあり76.4%を占めている、3～4人は17.1%、5～9人は4.8%で、10人以上常時従業者を有する商店は6.4%と極めて少数である。

業種別に商店数の割合をみると、卸売業で機械器具卸売業と食料、飲料卸売業がそれぞれ707、704と卸売業の36%を占めている。

小売業では、飲食料品小売業が16,076で最も多く56%を占めている。このうち菓子、パン小売業が5,666でトップ、酒、調味料小売業は2,979で第2位である。

従業者数

従業者数の総数は96,474人で、その内訳は、個人業主家族従業者及び有給役員が、62,823人で65%を占め、常用従業者は29,597人、臨時日雇の従業者は4,054人である。これを前回調査の結果と比較してみると、臨時日雇の従業者が1,028人34.0%の増加を示したのに対して、個人事業主、家族従業者有給役員、常用従業者は8.7%の増加にとどまつた。

売場面積

売場面積は前回は調査されなかつたが、今回は小売業についてのみの調査された、その結果によれば、小売業28,811商店の売場面積は708,680m²であつた。1商店あ

たりにすると、24.6m²である。これを業種別にみると、やはり百貨店が最も多く、1,820.6m²と群をぬいている。これについてその他の各種商品小売業が118.2m²、呉服服地寝具小売業の51.0m²、婦人子供服小売業の43.0m²などとなっている。1商店当りの売場面積が20m²に未たない業種は、食肉小売業、鮮魚小売業、菓子パン小売業などである。

商品販売額

商品販売額は月間（6月1日～30日まで）で184億円で前回にくらべ58.4%68億円の増加を示している。また年間販売額は2,123億円で前回にくらべ697億円48.9%増加している。

年間商品販売額の販売方法別割合を甲調査について調べた結果をみると、卸、小売の合計では販売額1,627億円で892億円は掛売その他で54.8%を占めている。現金販売は全体の36.2%、チケット販売0.7%である。これを卸、小売の別にみると、卸売業では販売額の70.5%を掛売その他で、現金販売は20.3%である。卸売業で販売額の8割が掛売その他である業種は、医薬品化粧品卸売業、化学製品卸売業、鉱物金属材料卸売業などである。

農畜産物水産物卸売業は現金販売が33.5%を占め他の業種にくらべその率は最も高い、また機械器具卸売業も月賦販売額が34.2%でその割合が他の業種にくらべ非常に高くなっている。

小売業では販売額587億円で64.4%378億円は現金販売で、27.1%が掛売その他となっており、卸売業と逆な関係になっている。

小売業で現金販売が最も多いのは中古品小売業で93.2%、これについて菓子パン小売業、その他の各種商品小売業の88.2%、そのほか販売額の80%以上が現金販売である業種は、百貨店、婦人子供服小売業、野菜果実小売業、陶磁器ガラス器小売業などである。これに対し、掛売その他の多い業種は、その他の什器小売業の90.0%が最も多く、燃料小売業61.4%、農耕用品小売業61.0%がこれについている。

商品手持額

商品手持額は204億円で、前回にくらべ68億円50.3%の増加を示している。年間商品販売額に対する商品手持額の割合は、前回の調査では9.5%であったものが、今回は9.6%と0.1%の伸びを示している。これを卸、小売別にみると、卸売業では7.6%、小売業では11.8%である。

営業経費

営業経費は、甲調査だけが調査されているのでここではとりあげないことにする。

2 丙調査（飲食店）について

商店数は3,379で前回調査の3,191にくらべ5.8%188の増加をみている。

商店数の業種別構成をみると、食堂が全体の34.8%を占めトップ、ついで酒場の14.6%、料理割ぼう店13.5%そば、うどん店11.9%となっている。業種別に前回と比較してみると、増加の著しかったものは、西洋料理店が、前回11であったものが、今回は17になり、その増加率は54.5%である。これについて、サロン、キャバレー、ナイトクラブの50%増となっている。増加数では、バーの83、食堂の82、すし屋の56などいずれも前回にくらべ増加が目立っている。減少を示した業種は、料理割ぼう店、酒場の二業種だけである。従業者数は10,616人であり、前回の9,745人にくらべ871人の増加である。業種別に1商店当りの従業者数をみると、最も多いのは、西洋料理店の27.3人、またサロン、キャバレー、ナイトクラブの10.9人も比較的多い方で、これに対して、酒場の18人、そば、うどん店の2.5人、中華料理店の2.7人など、いずれも小人数で営業が行なわれている。

年間販売額は58億円で前回の34億円にくらべ24億円の増加をみている。1商店当りの年間販売額をみると、全業種で173万円で、業種別では西洋料理店の1,337万円が最も多く、サロン、キャバレー、ナイトクラブ512万円、料理割ぼう店309万円、すし屋202万円などがこれについている。酒場の67万円は他の業種にくらべ極めて低い。

市町村別商店数従業者数商品販売額及び商品手持額

市町村別	飲食店以外の商店					飲食店				
	商店数	従業者数		年間商品販売額	商品手持額	商店数	従業者数		年間商品販売額	商品手持額
		常時従業者数	臨時労働者	36年6月1日現在	37年6月1日現在		常時従業者数	臨時労働者	36年6月1日現在	
総数	32,680	92,420	4,054	21,227,762	2,037,052	3,379	10,614	366	584,576	
市計	16,028	57,154	2,347	16,484,528	1,531,474	2,369	8,129	251	443,785	
水戸市	2,609	14,203	602	5,876,576	513,001	583	2,524	70	168,497	
日立市	1,955	7,935	292	1,963,414	181,358	426	1,660	68	87,390	
土浦市	1,655	6,127	161	1,952,861	171,673	231	799	14	48,555	
古河市	1,140	3,415	111	840,191	79,474	209	548	20	24,066	
石岡市	708	2,634	76	702,696	71,563	82	283	4	13,648	
下館市	1,157	3,934	149	1,039,556	92,295	138	394	7	21,822	
結城市	795	2,097	47	488,921	67,965	70	184	3	6,861	
竜ヶ崎	663	1,915	35	456,612	44,725	89	246	8	11,847	
那珂湊	770	2,161	139	519,215	35,738	70	206	9	8,072	
下妻	656	1,755	87	340,385	40,402	73	197	9	6,236	
水海道	807	2,144	92	396,298	36,639	58	135	2	5,357	
常陸太田市	668	2,153	205	510,466	50,706	56	173	5	8,354	
勝田市	536	1,556	122	560,080	44,434	85	250	7	8,857	
高萩市	506	1,562	88	283,224	36,176	54	172	11	8,794	
北茨城市	793	1,832	50	277,108	29,436	75	198	7	7,875	
笠間市	610	1,731	91	276,925	35,889	70	160	7	7,554	
東茨城郡	1,725	4,119	232	589,781	63,595	119	281	10	9,860	
常澄村	52	81	1	6,391	501	4	11	0	299	
茨城町	239	570	17	85,869	10,580	15	33	1	1,903	
小川町	214	499	33	112,901	12,929	9	16	4	351	
美野里町	159	316	12	48,340	4,102	12	26	0	935	
肉原村	138	272	16	35,290	3,903	1	2	0	72	
常北町	179	648	26	64,673	9,354	19	50	0	1,806	
桂村	126	241	12	22,033	2,531	10	19	1	554	
御前山村	129	253	8	19,388	2,977	3	8	0	145	
大洗町	488	1,239	107	194,896	16,718	46	116	4	3,795	
西茨城郡	901	2,047	193	266,480	29,738	69	176	22	7,718	
友部町	296	617	50	86,728	10,800	31	89	2	3,820	
岩間町	199	432	79	65,960	8,044	10	27	20	741	
七会村	33	53	2	5,774	635	—	—	—	—	
岩瀬町	373	945	62	108,018	10,262	28	60	0	3,157	
那珂郡	1,390	2,786	63	342,770	38,913	79	158	5	7,086	
東海村	166	358	7	53,906	5,267	24	51	5	1,812	
那珂町	382	715	19	77,575	10,185	12	23	0	1,095	

(続)

市町村別	飲食店以外の商店						飲食店				
	商店数	従業者数		年間商品販売額 36年6月1日 37年5月31日	商品手持額 37年6月1日 現在	商店数	従業者数		年間商品販売額 36年6月1日 37年5月31日		
		常時従業者数	臨時日雇者の労働者				常時従業者数	臨時日雇者の労働者			
瓜連町	129	294	12	33,023	4,758	9	29	0	1,988		
大宮町	256	577	9	106,254	10,288	18	34	—	1,819		
山方町	195	402	9	39,426	4,225	8	11	—	106		
美和村	126	207	—	14,528	1,408	6	8	0	219		
緒川村	136	233	7	18,058	2,782	2	2	0	47		
久慈郡	989	2,037	35	214,942	25,769	54	131	3	46,339		
金砂郷村	146	265	10	17,757	1,775	5	9	0	3,950		
水府村	146	289	1	24,245	2,503	2	4	0	730		
里美村	106	181	4	16,526	2,164	1	4	0	1,200		
大子町	591	1,302	20	156,414	19,327	46	114	3	40,459		
多賀郡	108	177	3	20,589	1,959	5	12	1	391		
十王町	108	177	3	20,589	1,959	5	12	1	391		
鹿島郡	1,681	3,411	175	484,127	48,208	99	237	11	10,409		
旭村	114	195	0	25,752	1,769	—	—	—	—		
銚田町	418	1,038	51	190,185	18,959	43	107	5	5,745		
大洋村	122	213	9	25,974	3,816	3	6	0	62		
大野村	137	219	13	28,950	1,130	2	5	0	172		
鹿島町	318	651	44	74,822	9,083	19	54	5	2,773		
神栖村	242	463	24	60,620	3,848	17	32	1	551		
波崎町	330	632	34	77,824	9,603	15	33	0	1,106		
行方郡	1,267	2,785	205	478,768	51,508	99	269	9	11,341		
麻生町	329	659	48	96,318	12,332	23	57	3	2,282		
牛堀町	181	404	50	112,112	9,855	19	52	0	2,458		
潮来町	403	1,047	55	195,862	19,621	40	119	6	5,665		
北浦村	131	266	14	26,164	3,111	6	11	0	159		
玉造町	223	409	38	48,312	6,589	11	30	0	777		
稲敷郡	1,497	3,288	126	448,563	47,197	99	267	13	11,201		
江戸崎町	244	752	36	106,673	13,166	27	80	5	3,674		
美浦村	159	289	2	22,444	2,031	4	9	0	410		
阿見町	227	500	28	70,250	6,541	22	71	2	2,956		
牛久町	198	459	33	118,858	9,216	12	39	6	1,856		
荃崎村	48	101	3	10,075	1,432	—	—	—	—		
新利根村	133	255	13	24,645	3,110	6	9	0	124		
河内村	203	394	6	40,451	5,252	13	32	0	1,440		
桜川村	108	231	4	23,563	2,990	7	16	0	453		
東村	177	307	1	31,604	3,459	8	11	0	288		

(続)

市町村別	飲食店以外の商店					飲食店				
	商店数	従業者数		年間商品販売額 36年6月1日 37年5月31日	商品手持額 37年6月1日 現在	商店数	従業者数		年間商品販売額 36年6月1日 37年5月31日	
		常時従業者数	臨時労働者数				常時従業者数	臨時労働者数		
新治郡	772	1,437	32	170,675	17,023	26	61	5	1,808	
出島村	132	261	14	30,678	3,061	3	6	3	81	
玉里村	36	77	1	28,342	2,891	3	11	0	117	
八郷町	307	565	8	55,211	6,667	10	21	0	600	
千代田村	96	169	3	17,941	1,275	3	10	0	460	
新治村	97	181	4	20,599	1,403	3	6	2	155	
桜村	104	184	2	17,904	1,726	4	7	0	395	
筑波郡	1,624	3,264	165	338,056	32,365	57	119	6	4,426	
谷田部町	353	717	12	111,459	8,545	17	31	1	1,560	
伊奈村	157	360	1	17,708	1,757	4	7	0	261	
谷和原村	120	212	0	19,835	1,347	2	4	0	137	
豊里町	299	525	4	36,959	3,731	8	17	0	342	
筑波町	477	1,014	148	112,894	12,524	21	51	5	1,997	
大穂町	218	436	0	39,201	4,461	5	9	0	129	
真壁郡	1,140	2,411	110	270,939	29,432	58	154	4	5,502	
関城町	226	513	15	75,188	6,177	9	23	0	478	
明野町	246	453	8	28,573	4,052	8	19	1	560	
真壁町	385	873	45	119,876	14,080	30	94	3	4,036	
大和村	72	122	1	8,960	820	2	3	0	22	
協和村	211	450	41	38,342	4,303	9	15	0	406	
結城郡	884	1,746	79	267,333	24,326	46	91	4	2,985	
八千代村	368	616	9	55,039	7,459	14	21	0	508	
千代川村	126	222	4	27,473	1,915	6	10	1	176	
石下町	390	908	66	184,821	14,952	26	60	3	2,301	
猿島郡	1,761	3,758	173	488,540	58,686	125	316	10	10,437	
総和村	187	280	14	26,128	2,217	7	12	3	416	
五霞村	88	152	5	11,342	1,211	2	3	0	128	
三和村	250	455	5	73,122	8,207	13	30	0	1,047	
猿島町	207	421	20	65,453	8,665	12	21	0	458	
岩井町	567	1,331	83	150,983	16,808	45	130	6	4,155	
境町	462	1,119	46	161,512	21,578	46	120	1	4,233	
北相馬郡	914	2,100	116	361,671	36,859	75	213	12	11,288	
守谷町	163	304	8	39,050	5,431	6	13	1	462	
取手町	413	1,040	62	210,365	19,243	49	155	8	7,250	
藤代町	203	479	30	79,308	9,352	13	28	3	1,008	
利根町	135	277	16	32,948	2,833	7	17	0	2,568	

年間商品販売額の割合—商店当り売場面積,

業 種 別	年 間 商 品 販 売 額 の 販 売 割 合				
	計	現金販売	チケット 販	月賦販売	掛 そ の 他
	万円	万円	万円	万円	万円
総 計	16,275,642	5,898,630	111,295	1,342,534	8,923,183
卸 売 業 計	10,395,677	2,112,853	10,580	942,219	7,330,025
一 般 卸 売 業	10,395,677	2,112,853	10,580	942,219	7,330,025
織 維 卸 売 業	270,808	66,423	840	62	203,483
衣 服 卸 売 業	315,799	60,317	730	2,995	251,757
農 産 物 卸 売 業	1,188,534	398,095	536	341	789,562
食 料 卸 売 業	2,227,218	461,758	2,363	3,608	1,759,489
医 薬 卸 売 業	383,983	49,957	28	92	333,906
化 粧 卸 売 業	136,354	23,156	6	1,609	111,583
金 属 卸 売 業	1,209,948	219,463	1,195	4,792	984,498
機 械 卸 売 業	2,642,535	433,078	3,914	902,702	1,302,841
建 築 材 卸 売 業	820,771	162,351	92	2,875	655,453
家 具 卸 売 業	162,615	34,271	179	148	128,017
代 理 商 卸 売 業	1,037,112	203,984	697	22,995	809,436
小 売 業 計	5,879,965	3,785,777	100,715	400,315	1,593,158
各 種 商 品 小 売 業	1,038,409	868,433	14,044	62,778	93,154
百貨店	573,156	458,274	12,042	24,315	78,525
その他の各種商品小売業	465,253	410,159	2,002	38,463	14,629
織物衣服身のまわり品小売業	1,337,541	1,047,411	50,734	82,758	156,638
呉服店	603,108	474,366	19,300	21,549	87,893
洋装店	169,595	88,940	13,032	47,575	20,048
婦人服店	109,803	93,316	3,874	3,299	9,314
その他の織物衣服身のまわり品小売業	82,936	62,954	6,396	5,401	8,185
飲食料品小売業	372,099	327,835	8,132	4,934	31,198
飲食料品小売業	1,339,527	921,750	2,340	4,570	410,867
各種調味料品小売業	335,695	276,160	852	2,728	55,955
酒類小売業	285,057	144,108	412	644	139,893
肉類小売業	79,025	53,597	134	—	25,294
魚介類小売業	71,237	53,267	—	—	17,970
乾物小売業	47,174	35,669	296	—	11,209
野菜果物小売業	37,262	31,098	183	—	5,981
菓子類小売業	128,893	113,653	186	270	14,784
穀類小売業	173,104	124,540	—	868	47,696
その他の飲食料品小売業	182,080	89,658	277	60	92,085
自転車荷車小売業	24,513	6,306	1,438	9,186	7,583
自転車小売業	22,430	5,415	1,438	8,170	7,407
荷車小売業	2,083	891	—	1,016	176
家具建具什器小売業	796,726	361,819	22,490	173,955	238,462
家具小売業	154,046	96,442	10,877	12,939	33,788
建具小売業	195,104	110,666	1,670	2,648	80,120
荒器小売業	22,729	18,291	408	—	4,030
磁器小売業	424,477	136,383	9,535	158,368	120,191
家庭用他小売業	370	37	—	—	333
その他小売業	1,343,249	580,058	9,669	67,068	686,454
医薬品小売業	127,121	101,014	774	1,008	24,325
農耕用品小売業	568,644	184,812	21	37,119	346,692
書籍小売業	133,953	49,702	391	1,623	82,237
燃書小売業	278,589	124,310	581	2,296	151,402
中古品小売業	2,717	2,531	—	—	186
他に分類されないその他の小売業	232,225	117,689	7,902	25,022	81,612

従業員数及び従業員1人当り年間商品販売額

構 計	成 比				一 商 店 当 り		従 業 員 1 人 当 り
	現金販売	チケット 販 売	月賦販売	掛売その他	売場面積	従業員数	年 間 商 品 販 売 額
%	%	%	%	%	m ²	人	万円
100.0	36.2	0.8	8.2	54.8	21.7	2.6	230
100.0	20.3	0.1	9.1	70.5	—	5.4	532
100.0	20.3	0.1	9.1	70.5	—	5.7	540
100.0	24.5	0.3	—	75.2	—	6.1	792
100.0	19.1	0.2	1	79.7	—	6.2	464
100.0	33.5	0.1	—	66.4	—	4.5	684
100.0	20.7	0.1	0.2	79.0	—	5.9	579
100.0	13.0	—	—	87.0	—	10.2	429
100.0	17.0	—	1.2	81.8	—	7.2	435
100.0	18.1	0.1	0.4	81.4	—	5.7	525
100.0	16.4	0.1	34.2	49.3	—	7.2	536
100.0	19.8	—	0.4	79.8	—	4.4	381
100.0	21.0	0.1	0.1	78.7	—	4.4	436
100.0	19.7	0.1	2.2	78.0	—	5.0	583
—	—	—	—	—	—	1.3	—
100.0	64.4	1.1	6.8	27.1	24.6	2.5	141
100.0	83.6	1.4	6.0	9.0	284.7	2.7	415
100.0	80.6	2.1	3.7	13.7	1,820.6	209.7	304
100.0	88.3	0.4	8.2	3.1	118.2	7.6	748
100.0	78.3	3.8	6.2	11.7	35.5	3.3	165
100.0	78.8	3.2	3.6	14.6	51.0	3.6	208
100.0	52.4	7.7	28.1	11.8	26.4	3.3	116
100.0	85.0	3.5	3.0	8.5	43.0	4.0	159
100.0	75.9	7.7	6.5	9.9	21.9	2.1	94
100.0	88.1	2.2	1.3	8.4	39.2	2.6	197
100.0	68.8	0.2	0.3	30.7	21.0	2.1	109
100.0	82.2	0.3	0.8	16.7	29.4	2.6	152
100.0	50.6	0.1	0.2	49.1	25.7	2.2	152
100.0	67.8	0.2	—	32.0	16.3	2.7	115
100.0	74.8	—	—	25.2	19.5	2.3	83
100.0	76.1	0.1	—	23.8	25.9	2.2	103
100.0	83.5	0.5	—	16.0	20.1	2.3	86
100.0	88.2	0.1	0.2	11.5	15.9	1.6	54
100.0	72.1	—	0.5	27.4	27.6	2.4	282
100.0	49.2	0.2	—	50.6	20.7	2.3	85
100.0	25.7	5.9	38.5	30.9	20.5	1.5	79
100.0	24.2	6.4	36.4	33.0	20.3	1.5	79
100.0	42.8	—	48.8	8.4	26.3	1.4	76
100.0	45.5	2.8	21.8	29.9	27.1	2.6	168
100.0	62.6	7.1	8.4	21.9	28.7	2.1	113
100.0	56.6	0.9	1.4	41.1	28.5	2.2	159
100.0	80.4	1.8	—	17.8	33.8	2.6	119
100.0	32.2	2.2	37.3	28.3	22.5	2.5	220
100.0	10.0	—	—	90.0	20.5	2.3	77
100.0	43.2	0.7	5.0	51.1	23.8	2.9	140
100.0	79.5	0.6	0.8	19.1	24.8	2.5	144
100.0	32.5	6.5	—	61.0	28.5	2.9	261
100.0	37.1	0.3	1.2	61.4	30.5	2.4	162
100.0	44.7	0.2	0.8	54.3	23.1	4.8	79
100.0	93.2	—	—	6.8	29.8	1.7	81
100.0	50.7	3.4	10.8	35.1	18.1	2.1	103

商店数, 従業者数, 商品販売額,

業種別	商店数	売場面積	従業者数			商品販売額		
			個人家族有	業主従業員	常用従業員	臨時日雇の従業員	月間	年間
総計	32,680	708,680	62,823	29,597	4,054	1,839,633	21,227,762	
卸売業計	3,869	—	8,742	12,245	1,390	1,023,075	11,164,550	
一般卸売業	3,616	—	8,436	12,221	1,384	1,023,075	11,164,550	
繊維品卸売業	60	—	145	222	28	19,200	290,725	
衣服のまわり品卸売業	115	—	267	449	51	27,365	332,291	
農畜物産物卸売業	441	—	1,086	892	209	106,852	1,352,671	
食料飲料卸売業	704	—	2,068	2,077	327	235,818	2,399,019	
医薬品化粧品卸売業	78	—	204	593	17	53,477	392,352	
化学品卸売業	45	—	82	243	19	13,483	141,441	
鉱物金属材料卸売業	437	—	923	1,561	104	145,524	1,305,200	
機械器具卸売業	707	—	1,299	3,810	69	247,024	2,738,719	
建築材料卸売業	552	—	1,256	1,159	320	74,888	919,861	
家具、建具、什器卸売業	93	—	200	213	47	14,030	179,864	
家の其他の什器卸売業	384	—	906	1,002	193	85,414	1,112,406	
代理店仲立	253	—	306	24	6	—	—	
小売業計	28,811	708,680	54,081	17,352	2,664	816,558	10,063,212	
各種商品小売業	92	26,199	143	2,375	31	71,599	1,044,708	
百貨店	9	16,386	37	1,851	20	49,091	573,156	
その他の各種商品小売業	83	9,813	106	524	11	22,508	471,552	
織物、衣服身のまわり品小売業	3,197	113,442	6,624	4,019	382	139,215	1,759,509	
呉服、服地、寝具小売業	846	43,123	2,070	1,523	158	54,672	750,692	
洋服、服小売業	607	15,999	1,207	781	68	20,341	229,622	
婦人子供服小売業	212	9,111	462	384	51	11,395	134,455	
くつ、履物小売業	856	18,704	1,516	267	41	14,138	167,466	
その他の織物、衣服身のまわり品小売業	676	26,509	1,369	1,054	64	38,669	477,274	
飲食料品小売業	16,076	337,992	30,090	3,441	949	301,487	3,679,871	
各種食料品小売業	1,561	45,909	3,137	864	93	50,254	611,789	
酒、調味料小売業	2,979	76,504	6,306	394	165	85,303	1,019,756	
食肉小売業	510	8,326	1,100	265	72	12,098	157,613	
鮮魚小売業	1,184	23,129	2,550	230	58	18,657	230,637	
乾物小売業	674	17,437	1,321	139	32	12,724	150,335	
野菜、果実小売業	742	14,935	1,602	81	26	13,455	144,493	
菓子、パン小売業	5,666	90,024	8,599	576	137	39,959	497,536	
米穀類小売業	675	18,599	1,426	224	88	39,020	465,669	
その他の飲食料品小売業	2,085	43,129	4,049	668	278	30,017	402,043	
自転車、荷車小売業	1,014	20,777	1,414	75	20	8,935	118,147	
自転車小売業	974	19,724	1,364	70	19	8,595	113,990	
荷車小売業	40	1,053	50	5	1	340	4,157	
家具、建具、什器小売業	2,951	80,087	5,439	2,117	407	110,893	1,266,242	
家具、建具、畳小売業	956	27,477	1,549	468	111	17,737	227,449	
陶器、荒物小売業	1,047	29,870	2,025	321	76	30,465	373,473	
金磁器、ガラス器小売業	125	4,221	264	61	11	3,227	38,921	
家庭用機械器具小売業	810	18,252	1,574	1,264	208	59,279	623,092	
その他小売業	13	267	27	3	1	185	2,307	
その他小売業	5,481	130,183	10,371	5,325	875	184,429	2,195,735	
医薬品化粧品小売業	722	17,954	1,413	377	41	23,047	257,441	
農耕用品小売業	1,162	33,074	2,549	841	306	69,698	883,597	
燃料小売業	668	20,396	1,316	274	39	20,920	257,752	
書籍、文具小売業	1,010	23,357	1,816	3,061	327	33,078	382,918	
中古品小売業	55	1,640	85	9	6	815	7,614	
他に分類されないその他の小売業	1,864	33,762	3,192	763	156	36,871	406,413	

営業経費,自動車保有台数等

商品手持額	修理料, サービス料, 仲立手数料の収入	営業経費		自動車保有台数						
		給与額	その他の営業経費	トラック			乗用車			
				普通	小型四輪	三輪	普通	小型軽四輪	二輪車	
万円	万円	万円	万円							
2,037,052	187,270	705,832	1,065,720	432	4,353	1,643	352	812	3,909	
846,162	121,358	339,904	624,054	299	2,536	920	212	405	1,648	
846,162	104,063	339,405	623,195	299	2,535	920	212	405	1,648	
30,948	863	8,480	16,840	—	34	2	4	9	37	
53,163	198	11,782	19,388	—	107	10	5	11	48	
47,116	8,398	32,588	49,021	31	213	125	10	16	156	
139,597	1,591	53,662	102,610	22	519	241	23	40	322	
81,983	50	14,511	15,985	1	98	12	24	29	91	
10,830	122	7,565	9,026	11	53	10	4	7	26	
57,183	756	44,664	69,527	58	345	153	32	39	246	
272,836	81,931	90,940	192,806	11	654	126	59	177	347	
70,992	8,823	39,227	81,378	135	219	125	32	33	156	
19,608	958	6,394	9,979	5	60	19	4	5	41	
61,906	373	29,592	56,635	25	233	97	15	39	178	
—	17,295	499	859	—	1	—	—	—	—	
1,190,890	65,912	365,928	441,666	133	1,817	723	140	407	2,261	
97,112	300	44,004	50,446	2	71	11	9	8	31	
59,579	300	32,950	43,795	2	56	5	9	8	23	
37,533	—	11,054	6,651	—	15	6	—	—	8	
348,193	8,645	95,066	136,861	3	262	23	51	142	421	
149,904	2,861	42,602	64,982	1	132	13	28	44	170	
44,925	1,341	16,552	21,903	1	64	2	13	52	110	
27,472	68	7,609	9,393	—	15	2	5	11	35	
37,433	3,982	5,662	8,073	—	11	2	2	8	44	
88,459	393	22,641	32,510	1	40	4	3	27	62	
222,229	3,672	76,655	99,794	83	425	298	14	50	594	
39,368	21	20,151	29,393	6	83	49	3	11	73	
82,702	476	10,451	15,149	1	103	61	1	10	150	
3,314	409	5,534	8,864	1	45	35	1	6	78	
3,551	76	4,541	5,348	—	32	33	—	—	51	
14,236	62	2,839	2,928	1	14	15	1	2	20	
6,283	553	2,893	2,819	—	17	13	—	2	12	
29,987	343	11,852	14,729	1	41	18	3	12	75	
17,396	1,586	6,502	6,774	73	44	40	1	1	63	
25,392	146	11,892	13,790	—	46	34	4	6	72	
19,920	11,573	1,771	1,947	1	17	9	1	1	21	
19,270	11,150	1,624	1,797	1	17	7	1	1	20	
650	423	147	150	—	—	2	—	—	1	
194,820	17,163	57,404	59,278	22	519	126	20	61	421	
29,969	3,803	12,560	13,146	5	104	22	6	16	79	
70,695	641	10,294	12,199	5	104	34	2	12	71	
9,337	—	1,660	4,209	—	15	2	—	1	9	
84,303	12,719	32,843	29,712	12	296	67	12	32	262	
516	—	47	12	—	—	1	—	—	—	
308,616	24,559	91,028	93,340	22	523	256	45	145	773	
69,304	36	10,443	8,546	1	30	2	5	27	65	
93,599	9,356	25,340	33,281	11	270	166	6	18	318	
20,923	302	7,012	10,706	8	80	53	3	11	59	
46,212	416	29,869	18,261	1	65	14	5	28	197	
1,151	107	193	492	—	2	1	—	1	2	
77,427	14,342	18,171	22,054	1	76	20	26	60	132	

市町村別事業所数, 従業者数

市町村別	事業所数			従業者数		
	計	3人以下	4人以上	計	3人以下	4人以上
昭和36年	7,104	3,829	3,275	132,301	8,824	123,477
市計	4,144	1,966	2,178	107,956	4,442	103,514
郡計	2,960	1,863	1,097	24,345	4,382	19,963
水戸市	664	308	356	8,379	663	7,716
日立市	746	216	530	57,675	533	57,142
土浦市	375	192	183	3,951	434	3,517
古河市	456	251	205	4,900	516	4,384
石岡市	239	112	127	3,621	240	3,381
下館市	281	132	149	5,082	294	4,788
結城市	357	258	99	2,630	561	2,069
竜ヶ崎	114	60	54	1,934	136	1,798
那珂湊	146	88	58	1,684	230	1,454
下妻	91	56	35	805	134	671
水海道	135	80	55	1,234	181	1,053
常陸太田	162	76	86	1,563	178	1,385
勝田	91	24	67	10,003	62	9,941
高萩	91	40	51	1,578	100	1,478
北茨城	108	31	77	1,298	76	1,222
笠間	88	42	46	1,619	104	1,515
東茨城郡	326	186	140	×	430	×
常澄村	26	21	5	226	43	183
茨城町	22	13	9	287	31	256
小川町	30	12	18	364	31	333
美野里町	28	20	8	276	41	235
内原村	16	15	1	×	35	×
常北町	18	7	11	98	18	80
桂村	20	17	3	65	31	34
御前山村	23	12	11	140	22	118
大洗町	143	69	74	1,270	178	1,092
西茨城郡	181	97	84	×	224	×
友部町	50	23	27	1,087	47	1,040
岩間町	57	41	16	303	91	212
七会村	2	—	2	×	—	×
岩瀬町	72	33	39	723	86	637
那珂郡	159	84	75	2,509	201	2,308
東海村	17	8	9	527	23	504
那珂町	41	24	17	773	62	711

昭和36年12月31日 工業統計調査

原材料使用額, 製造品出荷額等

原 材 料 使 用 額 等			製 造 品 出 荷 額 等		
計	3 人 以 下	4 人 以 上	計	3 人 以 下	4 人 以 上
千円	千円	千円	千円	千円	千円
174,260,554	2,823,184	171,437,370	261,626,536	4,567,332	257,059,204
159,964,691	1,455,549	158,509,142	238,304,341	2,402,996	235,901,345
14,295,863	1,367,635	12,928,228	23,322,195	2,164,336	21,157,859
8,782,463	202,846	8,579,617	13,274,177	344,447	12,929,730
109,701,733	176,675	109,525,058	161,773,039	317,801	161,455,238
2,622,197	181,928	2,440,269	4,168,361	285,366	3,882,995
3,578,521	92,537	3,485,984	5,150,129	188,855	4,961,274
3,532,538	73,861	3,458,677	4,566,260	113,441	4,452,819
4,673,518	87,799	4,585,719	6,506,122	143,502	6,362,620
1,652,848	82,495	1,570,353	2,406,492	165,499	2,240,993
2,806,590	32,507	2,774,083	5,897,360	59,081	5,838,279
1,032,707	286,158	746,549	1,571,614	383,079	1,188,535
599,937	42,750	557,187	859,035	67,744	791,291
698,409	44,899	653,510	1,119,704	68,253	1,051,451
941,921	46,241	895,680	1,527,910	79,553	1,448,357
14,952,273	14,889	14,937,384	23,326,820	29,643	23,297,177
2,682,876	36,803	2,646,073	3,470,362	53,601	3,416,761
1,167,255	25,926	1,141,329	1,483,330	55,285	1,428,045
538,905	27,235	511,670	1,203,626	47,846	1,155,780
x	129,489	x	x	202,311	x
76,702	16,718	59,984	114,084	26,107	87,977
153,511	4,855	148,656	240,919	7,395	233,524
196,799	14,088	182,711	304,809	19,315	285,494
109,057	10,910	98,147	171,118	17,433	153,685
x	3,440	x	x	6,632	x
44,237	2,294	41,943	81,872	5,182	76,690
17,398	8,263	9,135	25,099	11,887	13,212
83,170	2,929	80,241	138,786	4,738	134,048
765,688	65,992	699,696	1,149,734	103,622	1,046,112
x	46,585	x	x	83,485	x
395,256	8,112	387,144	876,770	16,672	860,098
78,930	17,642	61,288	135,740	27,065	108,675
x	—	x	x	—	x
187,853	20,831	167,022	424,753	39,748	385,005
1,692,922	53,244	1,639,678	2,313,058	103,158	2,209,900
301,715	4,413	297,302	245,234	7,638	237,596
665,988	21,261	644,727	945,524	30,965	914,559

(続)

市 町 村 別	事 業 所 数			従 業 者 数		
	計	3 人 以下	4 人 以上	計	3 人 以下	4 人 以上
瓜 連 町	12	7	5	57	19	38
大 宮 町	24	17	7	490	33	457
山 方 宮	25	11	14	188	27	161
美 和 村	23	5	18	390	13	377
緒 川 村	17	12	5	84	24	60
久 慈 郡	156	41	115	×	×	1,758
金 砂 郷 村	22	4	18	163	8	155
水 府 村	19	1	18	×	×	221
里 美 村	31	6	25	407	16	391
大 子 町	84	30	54	1,070	79	991
多 賀 郡	18	11	7	116	25	91
十 王 町	18	11	7	116	25	91
鹿 島 郡	396	217	179	2,270	596	1,674
旭 村	27	23	4	135	64	71
鉾 田 町	31	15	16	287	45	242
大 洋 村	27	14	13	119	38	81
大 野 村	38	6	32	261	18	243
大 鹿 島 町	56	39	17	229	98	131
神 栖 村	56	49	7	203	139	64
波 崎 町	161	71	90	1,036	194	842
行 方 郡	200	153	47	1,344	379	965
麻 生 町	56	50	6	178	128	50
牛 堀 町	18	8	10	141	12	129
潮 来 町	65	44	21	755	100	655
北 浦 村	13	7	6	122	19	103
玉 造 町	48	44	4	148	120	28
稻 敷 郡	149	103	46	1,848	237	1,611
江 戸 崎 町	10	5	5	91	13	78
美 浦 村	14	14	—	34	34	—
阿 見 町	25	12	13	704	26	678
牛 久 町	43	27	16	732	63	669
莖 崎 村	8	7	1	×	18	×
新 利 根 村	7	4	3	46	10	36
河 内 村	16	13	3	108	30	78
桜 川 村	14	13	1	×	32	×
東 村	12	8	4	65	11	54

(続)

原 材 料 使 用 額 等			製 造 品 出 荷 額 等		
計	3 人 以 下	4 人 以 上	計	3 人 以 下	4 人 以 上
千円	千円	千円	千円	千円	千円
24,172	7,067	17,105	37,626	10,018	27,608
106,927	8,477	101,450	289,448	11,138	278,310
170,903	3,185	167,715	239,140	6,000	233,140
383,917	8,591	375,326	508,671	32,236	476,435
39,300	3,247	36,053	47,415	5,163	42,252
1,472,709	104,249	1,368,460	<i>x</i>	<i>x</i>	2,113,784
49,992	1,249	48,743	105,719	2,660	103,059
123,410	160	123,250	<i>x</i>	<i>x</i>	215,670
368,648	10,498	358,150	502,832	13,445	489,377
930,659	92,342	838,317	1,436,680	131,002	1,305,678
54,578	4,985	49,593	115,859	10,380	105,479
54,578	4,985	49,593	115,859	10,380	105,479
2,785,168	359,183	2,425,985	3,314,490	400,544	2,913,946
78,953	39,180	39,773	81,967	26,476	55,491
208,596	32,496	176,100	250,138	39,411	210,727
62,834	21,342	41,492	91,867	31,184	60,683
152,060	3,501	148,559	195,112	5,411	189,701
116,211	28,025	88,186	146,490	37,044	109,446
288,416	138,943	149,473	296,676	137,503	159,173
1,878,098	95,696	1,782,402	2,252,240	123,515	2,128,725
522,389	131,073	391,316	1,589,974	195,286	1,394,688
69,817	32,934	36,883	114,562	57,110	57,452
32,617	1,443	31,174	64,813	2,180	62,633
268,505	33,971	234,534	1,182,893	49,709	1,133,184
82,422	6,470	75,952	130,700	9,621	121,079
69,028	56,255	12,773	97,006	76,666	20,340
1,393,881	61,830	1,332,051	3,141,691	111,619	3,030,072
47,221	2,138	45,083	85,462	3,889	81,573
16,400	16,400	—	25,820	25,820	—
1,033,438	7,966	1,025,472	2,419,387	13,309	2,406,078
186,428	15,682	170,746	404,134	30,193	373,941
<i>x</i>	2,610	<i>x</i>	<i>x</i>	5,962	<i>x</i>
17,564	2,755	14,809	52,669	4,055	48,614
19,080	11,050	8,030	46,559	19,050	27,509
<i>x</i>	1,879	<i>x</i>	<i>x</i>	6,846	<i>x</i>
65,241	1,350	63,891	81,540	2,495	79,045

(続)

市 町 村 別	事 業 所 数			従 業 者 数		
	計	3 人 以 下	4 人 以 上	計	3 人 以 下	4 人 以 上
新 治 郡	185	138	47	×	×	×
出 島 村	49	41	8	148	92	56
玉 里 村	7	6	1	×	17	×
八 郷 町	65	48	17	339	114	225
千 代 田 村	7	2	5	×	×	110
新 治 村	32	26	6	166	70	96
桜 村	25	15	10	122	36	86
筑 波 郡	178	125	53	952	297	655
谷 田 部 町	30	14	16	246	30	216
伊 奈 村	11	8	3	41	22	19
谷 和 原 村	16	12	4	79	34	45
豊 里 町	16	12	4	65	31	34
筑 波 町	66	48	18	352	107	245
大 穂 町	39	31	8	169	73	96
真 壁 郡	351	230	121	2,397	471	1,926
関 城 町	109	93	16	348	156	192
明 野 町	30	26	4	138	57	81
真 壁 町	168	87	81	1,613	203	1,410
大 和 村	9	—	9	149	—	149
協 和 村	35	24	11	149	55	94
結 城 郡	253	179	74	×	400	×
八 千 代 村	68	66	2	×	148	×
千 代 川 村	26	21	5	91	50	41
石 下 町	159	92	67	989	202	787
猿 島 郡	273	221	52	1,926	495	1,431
総 和 村	33	29	4	187	58	129
五 霞 村	13	13	—	26	26	—
三 和 村	23	17	6	216	34	182
猿 島 町	45	37	8	248	102	146
岩 井 町	93	73	20	754	162	591
境 町	66	52	14	495	112	383
北 相 馬 郡	135	78	57	×	187	×
守 谷 町	19	16	3	67	41	26
取 手 町	81	40	41	1,695	93	1,602
藤 代 町	22	10	12	212	24	188
利 根 町	13	12	1	×	29	×

(統)

原 材 料 使 用 額 等			製 造 品 出 荷 額 等		
計	3 人 以 下	4 人 以 上	計	3 人 以 下	4 人 以 上
千円 x	千円 101,253	千円 x	千円 x	千円 x	千円 x
61,777	24,459	37,318	81,418	32,106	49,312
x	6,768	x	x	11,020	x
158,870	44,570	114,300	254,937	70,498	184,439
62,003	3,620	58,383	x	x	69,299
43,005	12,780	30,225	81,647	22,410	59,237
37,565	9,056	28,509	81,301	19,055	62,246
352,598	97,750	254,848	622,121	148,784	473,337
46,673	11,236	35,437	84,474	16,283	68,191
10,497	2,842	7,655	20,157	7,268	12,889
31,266	16,990	14,276	49,925	25,618	24,307
37,904	9,137	28,767	66,828	12,948	53,880
182,291	36,910	145,381	295,514	53,262	242,252
43,967	20,635	23,332	105,223	33,405	71,818
642,245	54,505	587,740	1,520,284	134,951	1,385,333
170,294	15,413	154,881	304,478	50,454	254,024
55,930	2,720	53,210	169,825	10,705	159,120
361,845	24,848	336,997	916,049	49,866	866,183
34,307	—	34,307	84,601	—	84,601
19,869	11,524	8,345	45,331	23,926	21,405
x	73,113	x	x	133,303	x
x	26,279	x	x	50,644	x
21,032	10,931	10,101	36,446	18,318	18,128
275,762	35,903	239,859	492,468	64,341	428,127
822,551	100,458	722,093	1,397,581	241,727	1,155,854
110,344	13,673	96,671	197,459	23,935	173,524
1,600	1,600	—	3,998	3,998	—
173,662	15,076	158,586	247,917	18,664	229,253
49,975	4,084	45,891	124,085	58,633	65,452
265,528	28,486	237,042	436,142	73,559	362,583
221,442	37,539	183,903	387,980	62,938	325,042
x	49,918	x	x	91,177	x
19,413	8,023	11,390	42,320	15,727	26,593
1,505,797	24,454	1,481,343	1,891,004	46,192	1,844,812
183,370	13,435	169,935	166,499	21,243	145,256
x	4,006	x	x	8,015	x

交通量調査結果

全国の道路交通情勢を明らかにする交通量調査が、各都道府県の国道、県道など数カ所で行なわれたが、本県

でも、土木部道路課のもとで33年と37年に次のような条件で県下117の観測地点で調査が行なわれた。

調査年度	第一日			第二日			第三日		
	月日	曜	天候	月日	曜	天候	月日	曜	天候
33 (春季)	6.10	火	晴	6.11	水	曇～雨	6.12	木	曇
33 (秋季)	10.14	火	晴	10.15	水	晴後曇	10.16	木	雨後曇
37 (春季)	6.12	火	曇～雨	6.13	水	曇～雨	6.14	木	曇～雨
37 (秋季)	10.23	火	曇	10.24	水	晴	10.25	木	晴

調査時間は毎日7時～19時の間の3日連続調査を実施した(交通歩行者以上を停止させることなく観測するもので、一般交通量調査という。)

O, D調査実施の時間は次のとおり。(交通車両を停止させて、出発地、目的地、積載荷物、乗車人員等の調査)

調査の結果

この調査は、歩行者、自転車、荷車牛馬車、原動機付自転車、乗用自動車類として、軽自動車自動二輪車、小型普通、乗合、貨物自動車類として、小型、普通、特殊それに軍用車類としての分類によつて行なわれたが、このうち、歩行者、自転車、荷車牛馬車、普通乗用車、乗

合、特殊貨物自動車、軍用車については、これらの全体に占める割合が少ないのでここでは統計表として表わさなかつた。なおこれらについては、土木部道路課発行の全国道路交通情勢春秋二季調査総平均表には掲載されている。

観測地点 117カ所の結果を全体的にみると、歩行者、自転車、荷車牛馬車の減少と、原動機付自転車及び自動車類が増加していることがうかがわれる。

交通量の最も多いのは、観測地点が1カ所の1級国道4号線、猿島郡総和村大堤を除いて、各路線を一観測地点平均でみると、1級国道6号線が他の路線にくらべ非常に多い。

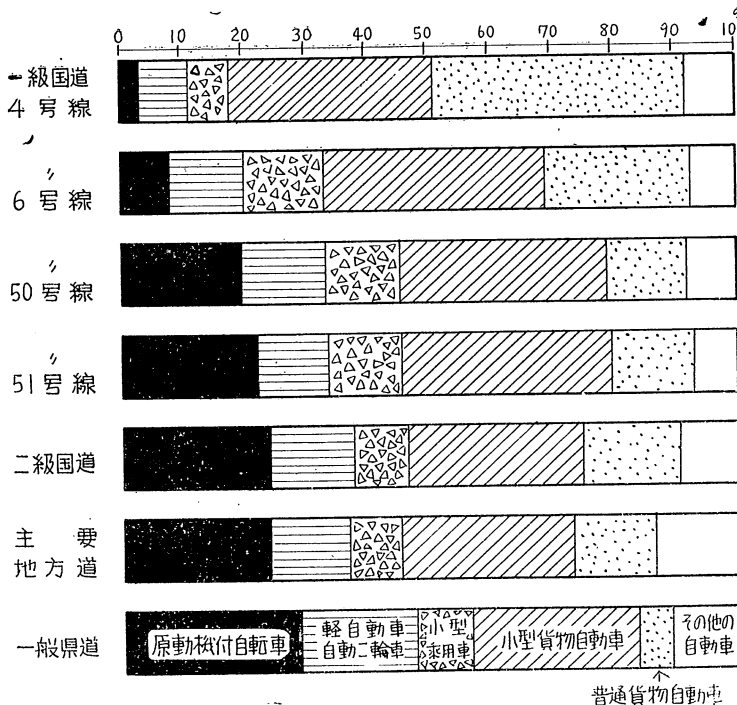
この1級国道6号線は、日立一水戸一土浦から東京へ通じるもので、原動機付自転車が501台、乗用車、貨物自動車など自動車類は5,733台で、原動機付自転車を含めた自動車類の交通量は1時間あたり260台に及んでいる。

増加率では、1級国道50号線、水戸一笠間一下館一小山線がトップであり、33年にくらべ原動機付自転車が390%、小型乗用車505%、小型貨物自動車303%とそれぞれ増加している。軽自動車は1級国道6号線で390%の増加普通貨物自動車は1級国道51号線137%といずれも増加率では他路線にくらべトップである。

さて、各路線のクラスとそこを通る車の種類とをみると

1級国道4号線では自動車類が7,528台のうち、大型、小型の貨物自動車は5,743台で76%がトラックである。また、1級国道6号線でも64%がトラックりなつている。これに対して一般県道では、原動機付自転車、軽自動二輪車など小型の車が

車種別交通量の割合



多く、原動機付自転車を含めた自動車類の47%を占めており主要地方道でも、原動機付自転車、乗用車類が50%で、上級道路は主に貨物自動車など大型のものが、下級道路は小型のものが多くことが明らかである。

次に路線別、観測地点別に交通情勢をみると、一級国道4号線では、原動機付自転車の多かつたところは、日立市宮田1,100台、水戸市千波で1,023台となつている。

自動車類の交通量は、水戸市千波、日立市金沢町杉宿土浦市中高津がいずれも7,000台を超え、1時間あたり300台近くになつている。

1級国道50号線では、水戸市西原6区が2位の結城市結城の2,289台を大きく引離して、4,415台で最も多い。

比較的少なかつたところは、笠間市稲田大字神田及び真壁郡協和村大字横塚で、いずれも自動車類の交通量が1,000台に満たない。

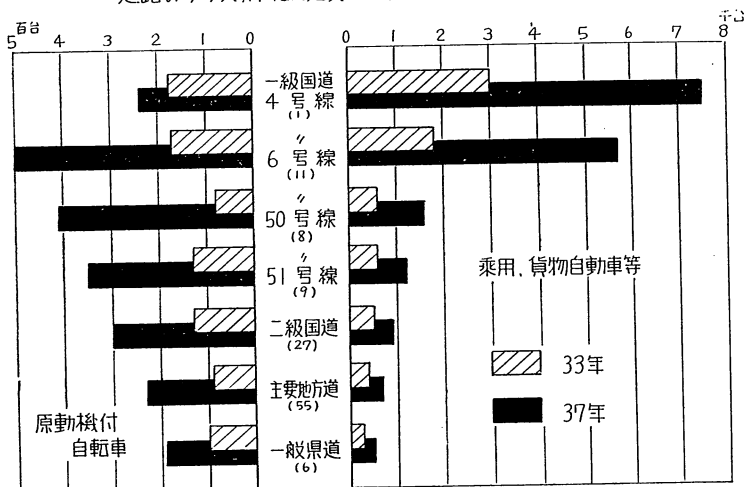
1級国道51号線では、東茨城郡常澄村塩ヶ崎が平均の1,258台をはるかにうわまわる3,617台を数え最も多く、このうち1,457台は小型貨物自動車である。またここでは原動機付自転車も非常に多く978台となつている。

2級国道では、水戸、日立線日立市河原町大字桜川が自動車類2,940台で33年にくらべ2,069台の増加を示している。これについて佐原、熊ヶ谷線の稲敷郡阿見町大字青宿が2,010台、また、水戸市中河内、東茨城郡桂村大字下下、水戸市飯富、土浦市並木、下妻市新町、那珂湊市関戸などでは、自動車類の交通量が1,000台を超えている。原動機付自転車の多かつたところは、下妻市新町の888台、稲敷郡阿見町青宿789台などである。

主要地方道では、竜ヶ崎市川原代が最も多く、2,315台で33年にくらべ1,710台の増加をみている。これにつぐのが、古河市古河の1,734台で、これらは主要地方道の自動車類の平均656台をはるかに上回つている。

一方、主要地方道で減少をみたところは東茨城郡御前山村野口が33年の313台に対し169台の減少を示し、常陸太田市山下では483台、稲敷郡新利根村中山では189台それぞれ減少を示している。一般県道では、水戸市吉田の1,408台で、他は100~300台ということからみると非常に多いといえよう。

道路のクラス別観測地点1ヶ所平均交通量



()内は観測地点数

む す び

本誌の37年6月号に本県の自動車と題して、本県における登録及び届出自動車についてその状況を紹介したが国民経済の発展とともに、輸送力が増強され、最近ではトラックなども相当に大型のものが現われ、また、国民生活の向上から自家用車を持つ人達も日ごとに増加し、農村でも小型トラックなどを持つてゐる家が少なくない原動機付自転車にいたつてはほとんどの家を持つてゐるということである。このように車そのものが高度に普及

しつつあるのであるから、今まで述べて来たように、交通量が著しく増加していることはむしろ当然のことである。このような交通情勢の中で本県の道路の現況をみると、37年3月31日現在で道路舗装率は、国道で41%、県道の主要地方道で16%、一般県道2.8%という状態であり今後急速に舗装化されることが期待されるのでありますが、これには相当の財源が必要となつてまいりますので飛躍的によくなることは望む方が無理かとも思われますが、一日も早くほごりの立たない道路になることが望まれます。

観測地点別

道路種類	路線名	観測地点名					原動機付自転車			自 乗 用 自 動 車			
		郡	市	町	村	大字	33	37	増減△	軽自動車自動二輪車			
										33	37	増減	
1級国道	四号	猿	島	総	和	大	堤	175	242	67	374	267	△ 107
//	六号	北	相	馬	取	手	上新町	178	281	103	132	520	388
//	//	稻	敷	牛	久	田	宮上宿	145	277	132	100	734	634
//	//	土	浦	一	中	高	津	151	241	90	530	1,572	1,042
//	//	石	岡	石	岡	幸		76	441	365	108	618	510
//	//	東	茨	城	茨	城	奥の谷	118	178	60	76	568	492
//	//	水	戸	千	波	千	波	296	1,023	727	406	975	569
//	//	那	珂	東	海	二軒	茶屋	34	408	374	160	461	301
//	//	日	立	金	沢	杉	宿	65	991	926	336	1,059	723
//	//	日	立	一	宮	田		515	1,100	585	504	1,047	543
//	//	高	萩	松	岡	松	原	56	130	74	79	244	165
//	//	北	茨	城	磯	原	一	63	199	136	101	367	266
6号線1カ所平均								170	501	331	264	767	503
小計								1,872	5,511	3,639	2,906	8,432	5,526
1級国道	五十号	結	城	一	結	城		146	668	522	85	252	167
//	//	下	館	下	館	飯	島	16	127	111	170	128	△ 42
//	//	真	壁	協	和	横	塚	93	293	200	159	129	△ 30
//	//	西	茨	城	岩	瀬	瀬	107	559	452	127	205	78
//	//	笠	間	稻	田	神	田	53	218	165	151	107	△ 44
//	//	笠	間	一	関	場		48	197	149	81	172	91
//	//	東	茨	城	内	原	大	83	431	348	79	227	148
//	//	水	戸	西	原	六	区	130	808	678	162	1,071	909
50号線1カ所平均								84	412	328	127	286	159
小計								676	3,301	2,625	1,014	2,291	1,277
1級国道	五十一号	稻	敷	東	西	代		56	277	221	182	130	△ 52
//	//	行	方	牛	堀	芝	宿	266	609	343	215	274	59
//	//	//	//	潮	来	延	方	193	411	218	139	184	45
//	//	鹿	島	鹿	島	神	向	91	148	57	49	80	31
//	//	//	//	大	野	荒	井	45	70	25	67	26	△ 41
//	//	//	//	太	洋	汲	上	101	287	186	104	95	△ 9
//	//	//	//	旭	椏	山		91	170	79	57	78	21
//	//	東	茨	城	大	波	夏	22	179	157	66	185	119
//	//	//	//	常	澄	塩	ヶ	307	978	671	310	650	340
51号線1カ所平均								130	348	218	132	189	57
小計								1,172	3,129	1,957	1,189	1,702	513

1 日 平 均 交 通 量

動 車 類											
動 車 類			貨 物 自 動 車 類						合 計		
小 型			小 型			普 通					
33	37	增 減	33	37	增 減	33	37	增 減	33	37	增 減
223	911	688	831	2,548	1,717	1,366	3,195	1,829	3,070	7,528	4,458
190	866	676	727	2,251	1,524	1,008	2,210	1,202	2,287	6,173	3,886
85	705	620	441	1,993	1,552	483	1,302	819	1,310	5,130	3,820
166	902	736	703	2,721	2,018	488	1,465	977	2,204	7,122	4,918
105	633	528	362	1,818	1,456	399	1,165	766	1,131	4,528	3,397
79	617	538	364	1,436	1,072	443	1,133	690	1,082	4,039	2,957
155	1,681	1,526	770	2,656	1,886	629	1,474	845	2,271	7,355	5,084
77	776	699	456	2,022	1,566	353	970	617	1,146	4,544	3,398
125	928	803	862	3,319	2,457	720	1,280	560	2,269	7,131	4,862
178	744	566	838	2,261	1,423	466	759	293	2,390	5,740	3,350
52	198	146	289	711	422	284	477	193	780	1,727	947
75	246	171	290	767	477	225	576	351	768	2,051	1,283
137	837	700	630	2,227	1,597	624	1,455	831	1,882	5,733	3,851
1,510	9,207	7,697	6,933	24,503	17,570	6,864	16,006	9,142	20,708	63,068	42,360
36	302	266	263	932	669	260	655	395	699	2,289	1,590
32	169	137	276	582	306	197	283	86	734	1,242	508
26	128	102	194	412	218	95	175	80	514	908	394
45	190	145	179	502	323	123	195	72	513	1,176	663
53	103	50	191	366	175	160	175	15	604	812	208
41	177	136	201	432	231	127	196	69	523	1,104	581
37	242	205	230	634	404	115	206	91	545	1,522	977
61	676	615	321	1,768	1,447	125	301	176	997	4,415	3,418
41	248	207	232	703	471	150	273	123	641	1,683	1,042
331	1,987	1,656	1,855	5,628	3,773	1,202	2,186	984	5,129	13,468	8,339
53	179	126	237	555	318	97	277	180	708	1,302	594
32	217	185	305	738	433	79	229	150	792	1,630	838
38	137	99	214	532	318	63	212	149	541	1,173	632
22	101	79	136	288	152	62	82	20	308	604	296
11	27	16	164	245	81	67	112	45	332	442	110
16	85	69	171	474	303	103	245	142	420	946	526
20	110	90	165	395	230	79	195	116	359	851	492
15	82	67	158	274	116	85	147	62	363	762	399
194	766	572	660	1,457	797	241	400	159	1,614	3,617	2,003
45	189	144	245	551	306	97	211	114	604	1,258	654
401	1,704	1,303	2,210	4,958	2,748	876	1,899	1,023	5,437	11,327	5,890

(続)

道路種類	路線名	観測地点名				原動機付自転車			自 乗 用 自 軽自動車自動二輪車			
		郡	市	町	村	大字	33	37	増△減	33	37	増△減
2級国道	水戸郡山	水戸	中河内	一								
//	//	那珂	那珂	飯田								
//	//	//	大宮	泉								
//	//	//	山方	山方								
//	//	久慈	大子	西金								
//	//	//	//	小久慈								
//	//	//	//	下野宮								
//	宇都宮	東茨城	御前山	長倉								
//	水戸	//	桂	下								
//	//	水戸	飯波	富崎								
//	鉾子水戸	鹿島	波崎	荒波								
//	//	//	//	太田新田								
//	//	//	神栖	居切								
//	佐原熊谷	稲敷	東	水神								
//	//	//	桜川	古渡								
//	//	//	阿見	島津								
//	//	//	//	青宿								
//	//	土浦	並木	一								
//	//	筑波	筑波	北条新田								
//	//	下妻	一	比毛								
//	//	//	一	新町								
//	//	結城	八千代	沼森								
//	//	猿島	三和	下片田								
//	//	//	総和	西牛谷								
//	水戸日立	那珂	湊	一								
//	//	勝田	一	馬渡								
//	//	日立	河原	子桜								
2級国道1カ所平均						125	292	167	129	156	27	
小計						3,371	7,883	4,512	3,477	4,223	746	
主要地方道	日立勿来	多賀	十王	友部								
//	常陸太田	常陸太田	一里	野宮								
//	//	久慈	里美	深萩								
//	//	//	//	生田								
//	佐野古河	古河	一	古河								
//	宇都宮	笠間	一	片庭								
//	水戸	東茨城	御前山	野口								
//	日立勿来	北茨城	一	石岡								
小計						398	1,582	1,184	838	736	△102	

(統)

動 車 類											
貨 物 自 動 車									合 計		
動 車 類			小 型			普 通			合 計		
33	37	增△減	33	37	增△減	33	37	增△減	33	37	增△減
36	158	122	255	498	243	186	314	128	675	1,374	699
24	96	72	183	351	168	79	154	75	418	798	380
30	123	93	188	339	151	83	254	171	435	913	478
15	47	32	143	267	124	47	210	163	344	853	509
20	69	49	102	177	75	55	100	45	275	462	187
55	116	61	161	279	118	55	114	59	452	773	321
33	67	34	92	203	111	52	66	14	276	469	193
8	25	17	82	81	△ 1	31	38	7	220	203	△ 17
36	36	0	156	383	227	152	422	270	458	1,006	548
20	100	80	176	339	163	233	377	144	630	1,097	467
6	31	25	153	198	45	39	29	△ 10	299	344	45
7	22	15	102	160	58	36	31	△ 5	216	300	84
17	52	35	168	280	112	71	143	72	357	686	329
20	43	23	103	122	19	64	264	200	278	682	404
11	21	10	104	135	31	46	183	137	247	750	503
12	131	119	143	159	16	91	287	196	432	806	374
53	123	70	332	566	234	165	507	342	1,032	2,010	978
56	181	125	241	497	256	118	251	133	731	1,208	477
29	140	111	133	368	235	101	206	105	501	935	434
9	45	36	90	194	104	16	48	32	210	438	228
92	154	62	331	657	326	90	150	60	1,115	1,440	325
22	57	35	170	327	157	41	100	59	548	710	162
6	55	49	101	183	82	52	109	57	309	478	169
18	93	75	153	287	134	71	173	102	417	727	310
91	274	183	635	598	△ 37	142	108	△ 34	1,239	1,326	87
12	33	21	202	224	22	31	50	19	347	511	164
52	460	408	395	1,327	932	92	355	263	871	2,940	2,069
29	102	73	189	341	152	83	187	104	494	898	404
790	2,752	1,962	5,094	9,199	4,105	2,239	5,043	2,804	13,332	24,239	10,907
8	44	36	62	88	26	95	54	△ 41	245	260	15
10	41	31	109	182	73	54	88	34	242	439	197
5	40	35	77	130	53	49	60	11	204	323	119
7	55	48	117	145	28	76	62	△ 14	314	409	95
126	204	78	283	509	226	229	563	334	1,166	1,734	568
19	47	28	36	95	59	16	47	31	139	258	119
34	33	△ 1	99	34	△ 65	44	17	△ 27	313	144	△ 169
11	54	43	90	191	101	26	55	29	301	467	166
220	518	298	873	1,374	501	589	946	357	2,924	4,034	1,110

(続)

道路種類	路線名	観測地点名			原動機付自動車			自 乗 用 自 軽自動車自動二輪車							
		郡	市	町	村	大	字	33	37	増△減	33	37	増△減		
														字	
主要地方道	水戸 烏山	那	珂	緒	川	上	小	瀬	94	257	163	23	71	48	
〃	大子 黒羽	久	慈	大	子	下	金	沢	36	219	183	70	80	10	
〃	茂木 大宮	那	珂	大	宮	小	野		38	146	108	80	25	△ 55	
〃	下館 茂木	下	館		一	中	館		138	339	201	113	130	17	
〃	水戸 銚田 佐 原	鹿	島	銚	田	銚	田		98	454	356	203	147	△ 56	
〃	〃	行	方	北	浦	山	田		134	387	253	69	105	36	
〃	土浦 野田	筑	波	谷	田	部	谷	田	部	123	363	240	45	316	271
〃	〃	〃	〃	谷	和	原	箕	輪	270	344	74	78	132	54	
〃	〃	猿	島	岩	井	神	田	山	122	163	41	85	47	△ 38	
〃	〃	〃	〃	〃	〃	矢	作		83	224	141	47	105	58	
〃	日立 大子	日	立		一	宮	田		5	84	79	74	119	45	
〃	〃	久	慈	大	子	袋	田		53	145	92	46	136	90	
〃	水戸 太田	那	珂	那	珂	五	合		51	338	287	167	234	67	
〃	〃	〃	〃	〃	〃	額	田	北郷	105	363	258	206	274	68	
〃	〃	常	陸	太	田	一	山	下	267	399	132	569	229	△ 340	
〃	古河 岩井	猿	島	総	和	积	迦		37	158	121	105	68	△ 37	
〃	〃	〃	〃	境	塚	崎			65	216	151	110	76	△ 34	
〃	〃	〃	〃	岩	井	三	村		17	138	121	47	42	△ 5	
〃	結城 野田	結	城		一	大	防		94	191	97	45	59	14	
〃	〃	猿	島	三	和	北	山	田	50	136	86	128	90	△ 38	
〃	〃	〃	〃	境	猿	山			95	193	98	63	69	6	
〃	竜ヶ崎潮来	竜	ヶ	崎		一	川	原	代	115	441	326	94	439	345
〃	〃	稻	敷	新	利	根	中	山	44	3	△ 41	189	168	△ 21	
〃	〃	東	幸	田		一			119	164	45	193	69	△ 124	
〃	久慈 大宮	久	慈	金	砂	郷	久	米	185	267	82	88	96	8	
〃	笠間 太田	〃	〃	〃	〃	中	野		44	149	105	59	74	15	
	小			計					2,482	6,281	3,799	2,996	3,400	404	

(統)

動 車 類											
動 車 類			貨 物 自 動 車						合 計		
小 型			小 型			普 通					
33	37	增△減	33	37	增△減	33	37	增△減	33	37	增△減
1	21	20	24	85	61	1	15	14	56	211	155
11	58	47	70	111	41	46	56	10	217	326	109
4	13	9	60	94	34	30	46	16	200	197	△ 3
14	78	64	146	263	117	72	96	24	375	624	249
21	129	108	182	501	319	54	86	32	521	975	454
13	76	63	107	368	261	33	155	122	251	799	548
36	177	141	135	493	358	39	124	85	312	1,297	985
19	87	68	172	320	148	39	148	109	387	779	392
10	56	46	106	236	130	28	266	238	280	651	371
2	169	167	38	386	348	6	327	321	99	1,071	972
36	103	67	156	314	158	166	299	133	547	1,052	505
72	91	19	84	154	70	38	34	△ 4	368	584	216
54	196	142	199	513	314	69	110	41	575	1,144	569
28	154	126	289	527	238	94	155	61	738	1,236	498
129	180	51	606	546	△ 60	214	174	△ 40	1,751	1,268	△ 483
15	62	47	145	317	172	72	112	40	380	620	240
4	54	50	141	246	105	52	74	22	357	504	147
9	35	26	66	129	63	5	51	46	135	270	135
10	21	11	85	149	64	65	114	49	220	367	147
13	36	23	90	160	70	49	76	27	298	380	82
11	42	31	84	153	69	26	60	34	202	346	144
61	350	289	266	1,061	795	98	315	217	605	2,315	1,710
45	50	5	255	219	△ 36	185	79	△ 106	746	557	△ 189
18	57	39	136	132	△ 4	88	188	100	504	593	89
25	39	14	121	179	58	53	192	139	316	548	232
9	30	21	44	79	35	54	44	△ 10	176	234	58
670	2,364	1,694	3,807	7,735	3,928	1,676	3,396	1,720	10,616	18,948	8,332

(統)

動 車 類											
動 車 類			貨 物 自 動 車						合 計		
小 型			小 型			普 通			合 計		
33	37	增△減	33	37	增△減	33	37	增△減	33	37	增△減
21	36	15	71	123	52	55	58	3	227	324	97
18	55	37	162	315	153	21	55	34	268	533	265
32	104	72	109	198	89	41	95	54	255	631	376
35	74	39	347	408	61	62	50	△ 12	773	997	224
7	46	39	92	224	132	6	32	26	244	501	257
8	72	64	120	240	120	34	50	16	339	529	190
30	69	39	129	279	150	34	64	30	303	529	226
3	74	71	111	285	174	26	93	67	256	611	355
15	63	48	167	392	225	32	129	97	333	813	480
34	216	182	259	588	329	66	148	82	672	1,295	623
10	36	26	74	136	62	46	40	△ 6	193	271	78
20	57	37	138	204	66	123	103	△ 20	507	520	13
96	36	△ 60	183	270	87	43	51	8	372	525	153
23	129	106	207	379	172	161	199	38	584	1,018	434
16	99	83	102	339	237	93	405	312	278	1,045	767
16	43	27	119	178	59	115	190	75	325	483	158
29	51	22	165	197	32	101	234	133	414	563	149
7	54	47	115	179	64	117	149	32	435	484	49
8	21	13	75	147	72	113	130	17	346	391	45
34	41	7	128	186	58	21	52	31	253	364	111
34	148	114	35	147	112	1	22	21	231	664	433
496	1,524	1,028	2,908	5,414	2,506	1,311	2,349	1,038	7,608	13,091	5,483
25	80	55	138	264	126	65	122	57	385	656	271
1,386	4,406	3,020	7,588	14,523	6,935	3,576	6,691	3,115	21,148	36,073	14,925
3	17	14	49	59	10	13	25	12	145	172	27
8	17	9	71	97	26	11	12	1	141	172	31
12	37	25	107	155	48	21	35	14	243	365	122
6	39	33	92	226	134	18	18	0	170	384	214
14	36	22	62	60	△ 2	7	48	41	126	338	212
75	213	138	320	500	180	89	69	△ 20	790	1,408	618
20	60	40	117	182	65	27	35	8	269	473	204
118	359	241	701	1,097	396	159	207	48	1,615	2,839	1,224

(続)

道路種類	路線名	観測地点名				原動機付自転車			自 乗 用 自			
		郡	市	町	村	大	字	輕自動車自動二輪車				
								33	37	増△減	33	37
主要地方道	笠間 太田	東茨城	常	北	石	塚	100	244	144	60	76	16
"	石岡 笠間	"	美	野	里	羽鳥	97	195	98	50	64	14
"	"	笠間	"	"	下市	毛	127	151	24	30	174	144
"	水戸那珂湊	那珂湊	"	一	殿	山	81	273	192	242	286	44
"	下館 石岡	真壁	真壁	亀	熊		61	381	320	106	147	41
"	"	新治	八郷	下	林		53	252	199	130	103	△ 27
"	石岡 潮来	"	玉	里	栗又	四箇	65	182	117	96	85	△ 11
"	"	行方	玉	造	羽	生	57	132	75	90	150	60
"	"	"	"	井	上		96	226	130	82	153	71
"	"	"	牛	堀	永	山	142	389	247	233	257	24
"	小川 鉢田	東茨城	小	川	倉	敷	70	118	48	51	47	△ 4
"	下館 北条	真壁	明	野	海老ヶ	島	54	165	111	180	98	△ 82
"	下館 取手	"	関	城	船	玉	165	285	120	16	115	99
"	"	結城	千代	川	宗	道	315	205	△ 110	158	259	101
"	"	水海道	"	一	三	坂	79	541	462	57	161	104
"	"	筑波	谷	和	原	一	150	182	32	49	45	△ 4
"	"	北相馬	守	谷	一		205	170	△ 35	70	61	△ 9
"	結城 下妻	真壁	関	城	一		67	249	182	163	62	△ 101
"	結城 下妻	下妻	"	一	黒	駒	90	189	99	125	75	△ 50
"	千葉竜ヶ崎	竜ヶ崎	"	一	長	沖	115	125	10	54	73	19
"	筑波 公園	筑波	筑波	沼	田		15	11	△ 4	83	205	122
	小			計			2,204	4,665	2,461	2,125	2,696	571
主要地方道1カ所平均							92	228	136	108	124	16
	合			計			5,084	12,528	7,444	5,959	6,832	873
一般県道	大宮 馬頭	那珂	美	和	鷲	子	35	137	102	63	46	△ 17
"	小里 野口	"	"	下	檜	沢	80	194	114	38	28	△ 10
"	水戸 岩間	水戸	河	和	田	一	82	191	109	72	102	30
"	鉢田 鹿島	鹿島	大	洋	札		97	137	40	38	60	22
"	成田 江戸崎	稲敷	江戸	崎	江戸	崎	114	135	21	30	126	96
"	長岡 水戸	水戸	吉	田	一		177	345	168	152	378	226
一般県道1カ所平均							97	190	93	65	123	58
	小			計			585	1,139	554	393	740	347

昭和37年度 学校保健統計調査結果

学事統計係

調査の概要

1 目的

学生、生徒、児童、幼児の発育状況および健康状態を調査して、学校保健行政上の基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査事項

学生、生徒、児童、幼児について

イ 発育計測値……身長、体重、胸囲、座高

ロ ……疾病異常栄養要注意、せき柱異常、胸郭異常
目耳鼻いん頭、伝染性皮膚疾患、心臓疾患、精神薄弱、運動機能障害、寄生虫病、その他の疾病、歯、結核、ツ反応、寄生虫卵保有

教員について……結核性疾患、成人病、血圧検査

3 調査期日

学校保健法施行規則により4月中に実施することになっている。ただし結核性疾患、ツベルクリン皮膚反応、寄生虫卵保有等の検診に日時を要する調査事項については調査票の提出期日までに行つた健康診断とする。

4 調査の対象

幼稚園については全数を調査の対象とし、小学校、中学校、高等学校については層化抽出の方法によつて小学校 $\frac{1}{10}$ 、中学校 $\frac{1}{4}$ 、高等学校 $\frac{1}{5}$ の割合で抽出を行いこれらの抽出された学校の幼児、児童、生徒の全数を調査の対象とする。

このほか盲学校、ろう学校と調査の対象となつた公立幼、小中学校を有する市町村教育委員会が調査の対象となる。昭和37年度の抽出数は、幼稚園69、小学校63、中学校49、高等学校20、市町村教育委員会62、盲ろう学校が各々1である。

調査結果の概要

(1) 健康診断の受検状況

幼児、児童、生徒に対して学校は、学校保健法に定めるところにより、毎年定期に健康診断を行なわなければならないことになっているが、検査当日たまたま病氣や、その他の事情により診断を受けない者もいるので、その受検率は必ずしも100%を記録してはいない。身長、体重、胸囲、座高を測定記録する計測検査は、毎年受検率も高く、本年度も幼稚園で95.9%、小学校で98.5%、中学校で97.5%、高等学校で99.0%の受検率を示している。また健康診断の受検率についてみると、栄養状態などを検査する一般検診の受検率は計測検査と同様、幼稚園94.6%、小学校98.9%、中学校97.6%、高等学校98.8%と高率を示しているが、目、耳、鼻、いん頭等の受検率は学校において設備や検査器具の関係などから上記数字より低示率をしている。しかし受検率は年々向上している。

(2) 大戦前後の食糧難によつて一時は極度に低下した生徒の体位も、経済状況の好転とともに、昭和24.5年頃から立直りを見せ昭和29年頃から戦前の水準に追いつき、その後も確実な足どりで年々漸増する傾向を示している。

小学校、中学校、高等学校の各年令の体位平均値を、全国平均と比較すると別表のようになり、これによると小、中、高とも全国平均を若干下回つているが、幼稚園については全国平均をやや上回る傾向を示している。

(3) 疾病異常

イ 一般検診

毎年定期に行われている健康診断は、幼児、児童生徒の保健管理上最も重要なものであり、生徒、児

童、幼児が、どのような疾病にどの程度の被患率を示しているか、またその疾病異常が地域的になぜ多いか、年次的にはどのような傾向を示しているかを知ることは、生徒、児童、幼児の健康保持増進を図るためにも欠くことのできないものである。

疾病異常のうちもつとも被患率の高いものは、別表でみるとおりむし歯で、幼稚園では男88.5%、女87.0%、小学校では男82.5%、女83.3%、中学校では男70.1%、女73.1%、高等学校男66.7%、女74.4%となっており、高学年になるに従って、その被患率は少なくなっている。これを35年度と比較してみると各学校ともに、男女各々の被患率は高くなっている。

つぎに被患率の高いものは近視で、高学年になるに従いその率は高く、高等学校の男子では26.2%、女子については28.6%の高率となつている。各学校とも一般に女子は男子に比してかなりの高率を示しているが、女子は前年より中学校を除いては減少している。その他比較的高いものは、へん桃線肥大と、高等学校男子の結膜炎、女子のその他の鼻いん頭の皮患等である。

ロ 結核検査

この調査における結核被患率は男女において、幼稚園0.17%、小学校0.19%、中学校0.31%、高等学校0.29%となつている。また女子については幼稚園0.05%、小学校0.19%、中学校0.26%、高等学校0.30%となっており、前年度より幼稚園の男子以外は低い率を示し特に昨年度高率を示した小学校、高等学校の減少が目立っている。

教員の健康診断については、学徒とつねに接触している関係上、幼児、児童、生徒の保健管理上きわめて重要である。この調査の学校ごとの被患率をみる

と、幼稚園が2.61%、小学校2.65%、中学校2.78%、高等学校6.25%となっており、前年度にくらべ幼稚園だけが被患率が高く、それ以外は減少している。本年度も前年度同様、上級学校になる程被患率が高い傾向を示している。

ハ 寄生虫卵保有

寄生虫卵保有については、回虫卵保有の検査を主とした塗抹法と、十二指腸虫卵保有の検査を主とした集卵法とで実施した。寄生虫卵保有が多いのは別表に示すとおり小学校で、次に中学校である。又男子は女子よりも保有者が多く、前年度に比べると各学校とも減少の傾向にある十二指腸虫卵保有者が多いのは中学校で、次に小学校の順となつている。回虫卵保有者は、前年度は小学校が高率を示し、ついで中学校となつているが、本年度は反対に中学校、小学校の順となつている。高等学校の被患率は零となつているが、これは各指定学校とも集卵法検査で実施した学校が大部分なので、比較的回虫卵保有者が少なく前記のような結果も現われる。

ニ 成人病、血圧検査

最近成人病、血圧の被患率が多く、一般に重要視されてきたので本年度初めて実施された項目であり、抽出校の教員のうち、血圧検査については40才以上の者を対象として行われ、そのうち最大血圧が150mm以上の占める割合は幼稚園7.0%、小学校15.7%、中学校16.5%、高等学校18.1%と上級学校の教員ほど高率を示していることが伺われる。

成人病については、抽出校203校の全教員について行なつたもので別表の示す如く、極く少数の被患者が男子で盲学校1名、高等学校2名、女子では中学校に1名という結果で現われている。

比

区 分	幼 稚 園						小 学									
	3 才		4 才		5 才		6 才		7 才		8 才		9 才		10	
	三六年度	三七年度	三六年度	三七年度	三六年度	三七年度	三六年度	三七年度	三六年度	三七年度	三六年度	三七年度	三六年度	三七年度	三六年度	三七年度
身 男	全国	96.8	97.0	102.5	102.6	107.6	107.9	112.0	112.4	117.3	117.7	122.4	122.9	127.2	127.6	131.9
	県	96.4	96.8	102.6	102.7	107.7	108.1	111.7	112.0	116.8	117.2	122.1	122.2	126.7	126.8	131.2
長 女	全国	95.6	95.7	101.4	101.5	106.5	106.7	111.0	111.4	116.3	116.6	121.5	121.8	126.7	127.1	132.4
	県	96.2	96.2	101.6	101.7	106.8	107.0	111.1	110.9	115.8	116.4	121.0	121.5	126.4	126.2	131.6
体 男	全国	15.0	15.0	16.4	16.5	17.8	17.9	19.1	19.3	21.1	21.3	23.3	23.5	25.7	25.8	28.2
	県	14.9	15.1	16.5	16.5	17.8	18.0	19.3	19.2	21.2	21.3	23.5	23.4	25.7	25.7	28.1
重 女	全国	14.5	14.4	15.8	15.9	17.3	17.3	18.6	18.8	20.6	20.7	22.9	23.0	25.4	25.5	28.4
	県	14.9	14.5	16.3	16.1	17.4	16.6	18.8	18.8	20.6	20.8	23.0	23.1	25.5	25.5	28.5
胸 男	全国	52.8	52.8	53.9	54.0	55.3	55.3	56.5	56.5	58.3	58.4	60.3	60.3	62.2	62.3	64.1
	県	53.3	52.7	53.9	54.2	54.3	55.4	56.5	56.5	58.2	58.2	60.1	60.2	61.8	62.0	63.9
胸 女	全国	51.5	51.5	52.6	52.8	53.8	53.8	54.9	54.9	56.6	56.6	58.6	58.6	60.6	60.7	63.1
	県	51.5	51.7	52.7	52.8	53.9	54.0	55.3	55.4	57.0	57.0	59.1	59.1	61.0	61.0	63.4
座 男	全国	56.0	56.3	58.8	58.9	61.3	61.4	63.5	63.6	66.0	66.1	68.3	68.4	70.5	70.6	72.5
	県	56.4	56.5	58.9	59.2	61.5	61.6	63.2	63.2	65.7	65.8	68.1	68.3	70.0	70.3	72.2
高 女	全国	55.3	55.3	58.1	58.2	60.0	60.8	63.0	63.1	65.6	65.6	68.0	68.0	70.4	70.4	73.0
	県	56.2	55.9	58.4	58.2	61.0	60.9	62.6	64.9	64.9	65.6	68.0	67.9	70.1	70.3	72.7

較

校			中 学 校						高 等 学 校							
才	11 才	才	12 才	13 才	14 才	15 才	16 才	17 才	18 才	才	才	才	才	才	才	
三 七 年 度	三 六 年 度	三 七 年 度	三 六 年 度	三 七 年 度	三 六 年 度	三 七 年 度	三 六 年 度	三 七 年 度	三 六 年 度	三 七 年 度	三 六 年 度	三 七 年 度	三 六 年 度	三 七 年 度	三 六 年 度	三 七 年 度
132.2	136.8	137.1	142.3	142.9	149.2	149.8	155.5	156.4	161.8	162.2	164.0	164.5	164.6	165.6	164.6	164.8
131.2	136.5	136.5	141.3	142.3	147.8	149.0	154.4	155.5	161.4	162.4	163.9	164.4	165.1	165.9	165.0	165.5
132.6	138.6	138.9	144.3	144.9	148.8	149.0	151.1	151.6	153.0	153.3	153.5	153.7	154.0	154.0	153.5	153.4
132.2	137.4	138.3	143.3	144.0	147.8	148.1	150.3	150.8	152.5	152.6	153.5	153.5	153.9	154.0	153.4	153.7
28.4	31.0	31.2	34.9	35.2	40.0	40.4	45.4	46.1	51.3	51.4	54.3	54.7	56.3	56.5	56.6	56.7
28.0	30.8	30.9	34.3	34.8	39.3	41.1	44.8	45.4	50.9	51.5	53.9	54.4	55.8	56.3	57.0	56.4
28.6	32.5	32.8	37.3	37.6	41.9	42.2	45.3	45.7	48.1	48.2	49.8	49.9	50.6	50.8	51.1	51.1
28.5	32.0	32.3	36.8	37.0	41.2	41.5	44.9	45.4	47.9	48.2	49.7	50.1	50.8	50.6	51.0	51.3
64.2	66.3	66.4	68.8	69.0	72.3	72.5	76.3	76.7	80.3	80.4	82.7	83.0	84.4	84.7	84.8	85.1
63.9	65.7	66.1	67.9	67.9	71.9	71.8	75.4	75.7	79.4	80.4	81.9	82.7	83.7	84.9	84.4	85.1
63.2	66.5	66.6	70.4	70.4	74.0	74.2	76.8	76.9	78.9	79.0	80.3	80.5	81.0	81.2	81.9	81.8
63.7	66.0	67.0	69.6	70.2	73.4	73.8	76.7	76.6	78.5	78.6	81.1	80.5	81.0	80.9	81.3	81.4
72.6	74.5	74.6	77.2	77.7	80.5	80.9	83.9	84.3	87.5	87.6	89.0	89.2	89.7	89.9	89.7	89.8
72.3	74.3	74.5	76.6	76.8	79.9	80.1	83.2	83.7	87.1	87.5	88.8	88.6	89.8	89.9	89.9	89.7
73.0	76.1	76.1	79.4	79.5	81.9	82.1	83.3	83.8	84.5	84.6	84.8	84.9	85.0	84.9	84.5	84.6
72.8	75.4	75.9	78.6	78.6	80.8	80.9	82.6	82.9	84.5	84.5	84.8	85.0	85.3	85.0	85.6	84.7

学 校 種 別, 男 女 別, 年

区 分	幼 稚 園			小 学					
	3 才	4 才	5 才	6 才	7 才	8 才	9 才		
身 長	男	昭和33年	96.1	102.2	107.1	110.7	116.0	120.9	125.8
		34	96.6	102.1	107.4	111.0	116.2	121.0	125.9
		35	97.0	103.4	107.9	111.0	116.3	121.2	126.1
		36	96.4	102.6	107.7	111.7	116.8	122.1	126.7
		37	96.8	102.7	108.1	112.0	117.2	122.2	126.8
	女	昭和33年	94.7	100.6	105.9	109.9	114.9	120.1	124.8
		34	95.7	100.8	105.6	109.9	115.1	120.2	125.2
		35	95.6	101.3	106.2	109.9	115.2	120.0	125.4
		36	96.2	101.6	106.8	111.1	115.8	121.0	126.4
		37	96.2	101.7	107.0	110.9	116.4	121.5	126.2
体 重	男	昭和33年	14.7	16.4	17.6	19.0	20.9	23.1	25.2
		34	14.8	16.3	17.8	18.8	20.9	23.0	25.2
		35	14.9	16.4	17.8	19.0	20.9	23.1	25.3
		36	14.9	16.5	17.8	19.3	21.2	23.5	25.7
		37	15.1	16.5	18.0	19.2	21.3	23.4	25.7
	女	昭和33年	14.1	15.7	17.1	18.4	20.3	22.6	24.8
		34	14.5	15.8	17.2	18.3	20.3	22.6	25.0
		35	14.3	15.9	17.2	18.4	20.3	22.5	25.0
		36	14.9	16.3	17.4	18.8	20.6	23.0	25.5
		37	14.5	16.1	16.6	18.8	20.8	23.1	25.5
胸 囲	男	昭和33年	51.8	53.9	55.1	56.3	58.2	60.2	62.1
		34	52.2	53.9	55.2	56.1	58.0	60.0	61.9
		35	52.4	53.9	55.2	56.5	58.4	60.2	62.1
		36	53.3	53.9	54.3	56.5	58.2	60.1	61.8
		37	52.7	54.2	55.4	56.5	58.2	60.2	62.0
	女	昭和33年	50.8	52.3	53.7	54.8	56.7	58.5	60.4
		34	51.2	52.4	53.9	54.6	56.4	58.4	60.4
		35	51.0	52.5	53.7	54.9	56.9	58.6	60.7
		36	51.5	52.7	53.9	55.3	57.0	59.1	61.0
		37	51.7	52.8	54.0	55.4	57.0	59.1	61.0
座 高	男	昭和33年	56.5	59.1	61.4	62.9	65.2	67.6	69.6
		34	55.8	59.7	61.4	63.0	65.3	67.6	69.9
		35	56.4	59.1	61.7	62.9	65.4	67.8	69.9
		36	56.4	58.9	61.5	63.2	65.7	68.1	70.0
		37	56.5	59.2	61.6	63.2	65.8	68.3	70.3
	女	昭和33年	55.6	58.2	60.9	62.5	64.7	67.3	69.4
		34	55.8	58.1	60.7	62.3	64.8	67.3	69.4
		35	56.1	58.3	60.9	62.5	65.0	67.3	69.7
		36	56.2	58.4	61.0	62.6	64.9	68.0	70.1
		37	55.9	58.2	60.9	64.9	65.6	67.9	70.3

次 别, 平 均 体 位 比 较

校		中 学 校			高 等 学 校				
10 才	11 才	12 才	13 才	14 才	15 才	16 才	17 才	18 才	19 才
130.1	134.5	140.5	146.8	153.5	160.5	162.9	164.5	153.5	164.1
130.4	135.0	140.5	147.7	154.0	160.2	162.8	164.3	163.8	163.7
130.4	135.2	141.0	147.4	154.6	161.1	163.7	164.8	164.9	163.6
131.2	136.5	141.3	147.8	154.4	161.4	163.9	165.1	165.0	165.1
131.2	136.5	142.3	149.0	155.5	162.4	164.4	165.9	165.5	164.8
130.0	135.5	142.5	147.0	149.9	151.7	153.0	153.6	152.6	156.4
130.5	136.4	142.0	147.0	150.0	152.2	153.0	153.4	152.9	150.7
130.8	136.4	142.8	147.1	149.9	152.8	153.2	153.6	154.0	152.5
131.6	137.4	143.3	147.8	150.3	152.5	153.5	153.9	153.4	153.2
132.2	138.3	144.0	148.1	150.8	152.6	153.5	154.0	153.7	156.8
27.5	30.0	33.8	38.6	43.9	51.0	53.6	56.0	55.9	57.0
27.5	30.2	33.9	39.2	44.5	50.4	53.5	55.5	55.9	56.1
27.5	30.1	34.1	38.9	45.0	50.9	53.8	55.5	56.8	56.6
28.1	30.8	34.3	39.3	44.8	50.9	53.9	55.8	57.0	57.2
28.0	30.9	34.8	41.1	45.4	51.5	54.4	56.3	56.4	58.2
27.6	30.9	36.3	40.7	44.6	47.9	49.3	50.0	50.2	50.5
27.7	31.3	35.7	41.2	45.0	47.8	49.7	50.1	50.0	49.2
27.9	31.3	36.3	40.9	45.2	48.0	49.7	50.6	50.7	50.2
28.5	32.0	36.8	41.2	44.9	47.9	49.7	50.8	51.0	51.7
28.5	32.3	37.0	41.5	45.4	48.2	50.1	50.6	51.4	52.5
63.7	65.7	68.1	71.7	75.4	80.1	82.5	84.3	84.7	85.0
63.5	65.5	68.1	72.0	76.0	79.1	81.9	83.5	84.1	84.7
63.8	65.7	68.2	71.4	75.5	80.3	82.2	83.9	85.5	84.8
63.9	65.7	67.9	71.9	75.4	79.4	81.9	83.7	88.4	86.7
63.9	66.1	67.9	71.8	75.7	80.4	82.7	84.9	85.1	87.0
62.3	65.5	70.3	73.5	76.7	77.9	79.4	80.1	81.0	80.8
62.4	65.2	69.1	73.9	77.1	78.8	79.9	80.5	81.2	81.7
63.0	65.8	69.5	73.3	76.3	79.0	80.3	80.8	80.4	81.3
63.4	66.0	69.6	73.4	76.7	78.5	81.1	81.0	81.3	80.5
63.7	67.0	70.2	73.8	76.6	78.6	80.5	80.9	81.6	81.0
71.7	73.6	75.9	79.3	82.7	87.4	88.9	89.9	89.5	89.4
71.8	73.7	76.2	79.7	83.2	86.8	88.3	89.5	89.5	89.3
71.9	73.9	76.3	79.5	83.1	87.1	89.0	89.8	90.1	89.5
72.2	74.3	76.6	79.9	83.2	87.1	88.8	89.8	89.9	89.9
72.3	74.5	76.8	80.1	83.7	87.5	88.6	89.9	89.7	90.2
71.8	74.2	78.0	80.6	82.0	84.0	84.5	84.6	84.0	85.1
72.1	74.8	78.0	80.9	82.8	84.2	84.6	84.7	84.1	83.2
72.4	74.9	78.7	80.7	82.6	84.1	84.8	84.9	84.9	84.1
72.7	75.4	78.6	80.8	82.6	84.5	84.8	85.3	85.6	95.3
72.8	75.9	78.6	80.9	82.9	84.5	85.0	84.5	84.6	86.0

一般検診による生徒児童、幼児

区	分	在児童 生幼 徒児 数	栄 養 要 注 意	せ き 柱 異 常	胸 郭 異 常	目								難 (両耳) 聴	
						近 視	遠 視	乱 視	弱 (両眼) 視	色 視 異常	ト ム ラ ホ ー	結 膜 炎	そ の 他 の 疾		
幼稚園	男	3才	114	—	1	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—
		4才	857	1	—	10	8	2	—	—	2	5	10	—	—
		5才	3,165	15	13	46	21	7	—	1	19	20	45	7	—
		計	4,136	16	14	56	29	9	—	1	21	25	57	7	—
		受検者数	3,908	3,908	3,908	1,749	1,830	1,830	2,298	3,159	3,811	3,811	3,811	3,811	3,434
	率(百分率)		0.4	0.4	1.4	1.7	0.5	—	0.04	0.7	0.7	1.5	0.2	—	
	女	3才	99	1	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—
		4才	772	5	1	6	10	3	—	—	—	4	16	—	—
		5才	3,036	10	11	12	21	1	—	1	2	20	38	9	2
		計	3,907	16	12	18	31	4	—	1	2	24	56	9	2
受検者数		3,703	3,703	3,703	1,565	1,633	1,633	2,134	3,003	3,621	3,621	3,621	3,621	3,191	
率(百分率)		0.6	0.4	0.7	2.0	0.2	—	0.05	0.07	0.7	1.5	0.2	0.1		
小学校	男	6才	2,118	9	41	40	127	2	2	—	27	18	24	19	7
		7才	2,251	10	27	33	114	—	—	1	46	27	41	14	14
		8才	2,316	2	20	32	190	2	4	6	66	20	32	20	7
		9才	2,416	16	24	35	191	—	1	3	65	23	48	13	5
		10才	2,576	7	28	28	211	—	8	9	64	21	46	15	10
		11才	2,894	7	24	28	208	4	1	15	75	21	51	17	7
		12才以上	10	—	—	1	3	—	1	—	—	—	—	1	1
	計	14,581	51	164	197	1,044	8	17	34	343	130	242	99	51	
	女	6才	2,011	6	30	26	144	—	1	—	4	34	48	19	10
		7才	2,186	8	21	14	122	—	—	1	1	27	41	14	6
8才		2,242	8	21	16	213	2	3	3	6	23	37	10	6	
女	9才	2,380	9	15	18	216	2	1	3	7	28	37	10	4	
	10才	2,514	7	25	16	255	7	8	5	6	21	73	12	9	
	11才	2,636	7	19	12	284	3	4	14	5	35	71	16	2	
	12才以上	5	1	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	
	計	13,974	46	131	102	1,236	14	17	26	29	168	307	81	37	
受検者数	13,838	13,838	13,838	12,290	12,242	11,079	12,599	13,838	13,800	13,800	13,800	13,800	13,567		
率(百分率)		0.3	0.9	0.7	10.1	0.1	0.2	0.2	0.2	1.2	2.2	0.6	0.3		

(注) 本表の率は各項目ごとに該当者数をその対応する受検者数で除し百分率で表したものである。

の疾病異常被患者数および率

耳		鼻およびいん頭				伝染性の皮膚	心臓の疾患	精神薄弱	身体虚弱	運動機能障害	寄生虫病	その他の異常	歯		
中耳炎	その他の疾	蓄のう症	アデノイ	へん頭線大	そ鼻のう疾								むし歯	完了者	未処置者
1	—	1	—	9	4	—	—	—	—	—	—	—	4	71	1
1	—	—	—	70	16	3	—	—	4	—	—	—	17	638	11
15	5	1	12	258	37	10	5	1	1	—	1	14	48	2,639	9
17	5	2	12	337	57	13	5	1	5	—	1	14	69	3,348	21
3,725	3,725	3,861	3,908	3,908	3,908	3,834	3,834	3,834	3,834	3,834	3,908	3,908	3,782	3,782	3,782
0.5	0.1	0.1	0.3	8.6	1.5	0.3	0.1	0.03	0.1	—	0.03	0.4	1.8	88.5	0.6
—	—	—	—	4	2	—	—	—	1	—	—	—	2	64	—
1	1	—	—	60	17	2	—	—	—	2	1	2	23	565	6
10	—	—	3	203	21	9	2	—	3	1	3	8	51	2,527	9
11	1	—	3	267	40	11	2	—	4	3	4	10	76	3,156	15
3,490	3,490	3,637	3,703	3,703	3,703	3,623	3,623	3,623	3,623	3,623	3,703	3,703	3,587	3,587	3,587
0.3	0.03	—	0.1	7.2	1.1	0.3	0.1	—	0.1	0.1	0.1	0.3	2.1	87.0	0.4
5	4	1	2	162	48	33	4	7	2	3	2	36	6	1,707	4
3	12	—	3	190	50	60	5	21	2	4	4	27	41	1,824	13
9	6	3	6	191	21	58	1	12	3	5	1	26	64	1,841	23
13	7	4	—	172	26	116	4	26	5	6	2	24	61	1,912	15
9	9	1	1	194	29	64	4	37	3	6	4	32	108	1,959	42
15	10	4	3	215	29	89	5	34	5	12	2	27	168	2,210	33
—	—	—	—	1	—	—	—	4	1	—	—	—	1	5	—
54	48	13	15	1,125	203	420	23	141	21	36	15	172	449	11,458	130
14,115	14,115	14,115	14,409	14,409	14,375	14,409	14,375	14,375	14,375	14,375	14,375	14,375	13,892	13,892	13,892
0.4	0.3	0.1	0.1	7.8	1.4	2.9	0.2	1.0	0.1	0.3	0.1	1.2	3.2	825	0.9
6	4	2	2	183	28	22	3	12	—	2	3	20	12	1,636	11
6	5	1	2	152	41	36	5	10	4	7	1	17	38	1,816	15
5	5	2	3	200	22	45	3	21	1	10	—	20	66	1,831	23
11	2	1	1	162	17	56	4	20	4	1	7	19	68	1,942	20
11	2	—	6	172	24	41	3	29	4	6	4	28	157	1,880	38
4	6	2	1	212	16	55	3	10	4	7	1	14	199	2,013	24
—	—	—	—	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	3	—
43	24	8	15	1,082	148	255	21	102	18	33	16	118	540	11,121	131
13,506	13,506	13,506	13,838	13,838	13,800	13,838	13,800	13,800	13,800	13,800	13,800	13,800	13,345	13,345	13,345
0.3	0.2	0.1	0.1	7.8	1.1	1.8	0.2	0.7	0.1	0.2	0.1	0.9	4.0	833	1.0

一般検診による生徒児童幼児の

区	分	在児 学童 生幼 徒児 数	栄 養 要 注 意	せ き 柱 異 常	胸 郭 異 常	目								難 聴 (両 耳)	
						近 視	遠 視	乱 視	弱 視 (両 眼)	色 神 異 常	ト ラ ホ ー	結 膜 炎	そ の 他 の 疾 疾		
中 学 校	男	12才	4,760	3	5	31	592	3	24	53	139	147	57	11	27
		13才	4,534	2	11	24	554	5	13	69	156	102	53	19	31
		14才	5,115	—	7	21	691	7	29	65	172	105	66	29	36
		15才以上	29	—	1	—	2	—	—	1	—	—	—	—	1
		計	14,438	5	24	76	1,839	15	66	188	467	354	176	59	95
	受検者数		14,063	14,063	14,063	13,158	10,974	10,974	12,837	12,837	12,837	12,837	12,837	12,837	12,958
	率(百分率)			0.04	0.2	0.5	14.0	0.1	0.6	1.5	3.6	2.8	1.4	0.5	0.7
	女	12才	4,510	3	5	18	640	3	21	62	13	143	70	18	18
		13才	4,400	2	2	20	777	6	27	86	10	143	53	19	23
		14才	4,894	1	3	17	979	2	44	111	22	89	56	27	19
15才以上		16	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	
計		13,820	6	10	55	2,399	11	92	259	45	375	179	64	60	
受検者数		13,539	13,539	13,539	12,664	10,502	10,502	12,374	12,374	12,374	12,374	12,374	12,374	12,379	
率(百分率)			0.04	0.1	0.4	18.9	0.1	0.9	2.1	0.4	3.0	1.4	0.5	0.5	
高 等 学 校	男	15才	1,883	2	3	8	368	2	16	7	60	16	54	25	8
		16才	1,450	3	—	4	324	—	13	10	42	8	53	22	4
		17才	1,673	5	7	8	440	—	22	12	53	8	60	16	3
		18才	360	2	—	1	68	—	2	4	8	2	12	4	2
		19才	54	—	1	—	16	—	1	1	1	—	3	—	—
		20才以上	64	—	—	—	15	—	4	1	1	—	4	—	—
	計	5,484	12	11	21	1,231	2	58	35	165	34	186	67	17	
	受検者数		5,367	5,367	5,367	4,692	4,015	2,969	4,692	5,367	5,212	5,212	5,212	5,212	5,367
	率(百分率)			0.2	0.2	0.4	26.2	0.05	2.0	0.7	3.1	0.7	3.6	1.3	0.3
	女	15才	2,657	7	4	2	634	3	25	6	3	22	22	18	8
16才		1,812	2	4	1	570	6	15	5	1	13	8	10	3	
17才		1,933	1	1	4	592	3	7	4	8	8	8	10	6	
18才		211	—	—	—	59	1	1	3	—	1	—	1	—	
19才		4	—	—	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—	
20才以上	3	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—		
計	6,620	10	9	7	1,857	13	49	18	12	44	38	39	17		
受検者数		6,592	6,592	6,592	6,496	6,319	6,243	6,496	6,101	6,101	6,101	6,101	6,101	5,481	
率(百分率)			0.2	0.1	0.1	28.6	0.2	0.8	0.3	0.2	0.7	0.6	0.6	0.3	

(注) 本表の率は各項目ごとに該当者数をその対応する受検者数で除し百分率で表したものである。

疾病異常被患者数および率

耳		鼻およびいん頭					伝染性の皮膚	心臓の疾患	精神薄弱	身体虚弱	運動機能障害	寄生虫病	その他の疾病	歯			
中耳炎	その他の疾	蓄のう症	アドデノイ	へん頭線大	肥のいん頭の	むし歯								未乳歯の者	その他の	歯疾	
							19	13	42	4	296	59	69				10
19	9	47	2	279	28	65	6	31	3	3	6	26	319	2,991	219		
31	4	41	1	282	38	48	11	22	3	7	4	36	338	3,541	254		
—	—	—	—	—	1	—	3	1	2	2	—	—	1	17	1		
69	26	130	7	857	126	182	30	81	14	24	17	92	969	9,849	704		
14,005	14,005	14,063	14,063	14,063	14,063	14,063	14,063	14,063	14,063	14,063	14,063	14,063	14,051	14,051	14,051		
0.5	0.2	0.9	0.05	6.1	0.9	1.3	0.2	0.6	0.1	0.2	0.1	0.7	6.8	70.1	5.0		
13	8	40	5	300	25	42	9	26	10	8	7	21	316	3,310	168		
10	10	39	4	257	8	25	8	36	8	13	4	20	428	3,042	177		
17	8	39	—	314	13	25	7	22	3	11	5	27	523	3,563	195		
—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	1	1	9	—		
40	26	118	9	871	46	92	24	85	21	33	16	69	1,268	9,924	540		
13,471	13,471	13,539	13,539	13,539	13,539	13,539	13,539	13,539	13,539	13,539	13,539	13,539	13,567	13,567	13,567		
0.3	0.2	0.9	0.1	6.4	0.3	0.7	0.2	0.6	0.2	0.2	0.1	0.5	9.3	73.1	4.0		
4	29	23	—	63	21	—	10	—	—	—	—	8	275	1,315	138		
5	15	22	—	29	26	—	3	—	—	1	—	5	231	945	131		
4	20	18	—	33	18	—	6	—	—	—	—	6	305	1,038	165		
—	—	5	—	5	3	—	—	—	—	—	—	1	46	214	22		
—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	1	1	27	—		
—	—	—	—	1	3	—	—	—	—	—	—	—	19	25	—		
13	64	68	—	133	71	—	19	—	—	1	—	21	877	3,564	456		
5,212	5,212	5,212	5,121	5,121	5,212	5,367	5,367	5,367	5,367	5,367	5,367	5,367	5,343	5,343	5,343		
0.2	1.2	1.3	—	2.6	1.4	—	0.4	—	—	0.02	—	0.4	16.4	66.7	8.5		
3	25	10	—	138	36	—	35	—	—	1	—	2	193	1,623	250		
10	10	12	—	55	39	—	13	—	—	2	—	3	272	1,181	101		
12	13	4	—	60	42	1	32	—	—	—	—	4	333	1,141	81		
—	1	1	—	1	7	—	2	—	—	—	—	1	44	120	9		
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	—		
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—		
25	49	27	—	254	124	1	82	—	—	3	—	10	842	4,069	441		
4,021	4,021	5,132	4,702	5,671	5,132	6,592	6,592	6,592	6,592	6,592	6,592	6,592	5,470	5,470	5,470		
0.6	1.2	0.5	—	4.5	2.4	0.02	1.2	—	—	0.05	—	0.2	15.4	74.4	8.1		

裸眼視力区分

区分	男															
	0.1未満	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.2	1.5	2.0	計	
小学	6才	2	1	2	1	8	10	39	5	82	7	719	646	539	37	2,098
	7才	4	1	6	8	6	12	25	12	64	26	564	864	575	56	2,223
	8才	2	9	9	15	12	18	21	20	63	78	624	843	521	52	2,287
	9才	6	13	16	23	11	20	15	25	52	59	531	828	748	50	2,397
	10才	8	26	27	18	17	21	16	24	43	69	499	885	849	55	2,557
	11才	10	29	31	33	19	16	24	26	42	54	412	931	1,130	111	2,868
	12才以上	—	—	1	1	—	1	—	2	—	1	2	2	—	—	10
校計	32	79	92	79	73	98	140	114	346	294	3,351	4,999	4,362	361	14,440	
構成比(%)	0.2	0.6	0.6	0.7	0.5	0.7	1.0	0.8	2.4	2.0	23.2	34.6	30.2	2.5	100.0	
中学	12才	25	97	83	57	49	49	44	74	112	137	537	1,124	2,091	206	4,685
	13才	38	100	68	64	41	60	51	71	82	97	460	961	2,126	173	4,392
	14才	42	126	85	80	69	90	77	72	81	141	467	1,058	2,354	219	4,961
	15才以上	2	—	—	1	—	—	1	1	—	1	3	8	8	—	25
	校計	107	323	236	202	159	199	173	218	275	376	1,467	3,151	6,579	598	14,063
構成比(%)	0.8	2.3	1.7	1.4	1.1	1.4	1.2	1.6	1.9	2.7	10.4	22.4	46.8	4.3	100.0	
高等学校	15才	16	85	72	45	40	41	41	38	49	45	165	442	693	100	1,872
	16才	25	73	62	35	44	22	29	28	39	36	99	255	606	88	1,441
	17才	22	109	100	69	40	38	26	30	39	41	116	326	616	72	1,644
	18才	3	16	11	9	10	5	8	7	9	8	21	60	137	26	330
	19才以上	—	4	3	3	2	10	4	2	4	3	6	24	35	3	103
校計	66	287	248	161	136	116	108	105	140	133	407	1,107	2,087	289	5,390	
構成比(%)	1.2	5.3	4.6	3.0	2.5	2.2	2.0	1.9	2.6	2.5	7.6	20.5	38.7	5.4	100.0	

別 該 当 者 数

女														
0.1 未満	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.2	1.5	2.0	計
1	—	—	4	7	13	29	12	101	22	724	628	414	29	1,984
2	5	8	11	3	10	28	6	75	36	673	814	461	37	2,169
3	6	11	10	12	21	23	33	72	93	636	813	445	47	2,225
3	13	14	17	16	24	25	33	51	82	557	779	692	54	2,360
1	25	26	23	22	32	23	34	52	96	553	826	703	73	2,489
5	15	26	24	24	42	27	48	63	86	485	798	904	60	2,607
—	—	—	—	—	—	1	—	—	1	—	1	2	—	5
15	64	85	89	84	142	156	166	414	416	3,628	4,659	3,621	300	13,839
0.1	0.5	0.6	0.6	0.6	1.0	1.1	1.2	3.0	3.0	26.2	33.7	26.2	2.2	100.0
22	79	79	69	62	69	52	103	119	147	626	1,094	1,821	102	4,444
35	115	99	81	62	99	75	108	140	169	547	1,060	1,673	59	4,322
73	153	123	113	111	93	82	121	177	167	694	1,111	1,676	117	4,811
1	—	1	1	—	—	—	2	—	—	4	3	4	—	16
131	347	302	264	235	261	209	334	436	483	1,871	3,268	5,174	278	13,593
1.0	2.6	2.2	1.9	1.7	1.9	1.5	2.5	3.2	3.6	13.8	24.0	38.1	2.0	100.0
49	124	127	96	51	79	40	83	72	107	243	488	988	106	2,653
58	105	96	66	51	57	45	49	58	60	139	321	594	92	1,791
39	125	96	78	71	49	44	50	57	52	153	309	705	99	1,927
3	9	13	11	5	10	4	6	6	8	26	28	69	7	205
—	—	—	—	—	—	1	1	—	—	1	2	2	—	7
149	363	332	251	178	195	134	189	193	227	562	1,148	2,358	304	6,583
2.3	5.5	5.1	3.8	2.7	3.0	2.0	2.9	2.9	3.5	8.5	17.4	35.8	4.6	100.0

教員 の 結 核 性 疾 患 被

区 分	教 員 数 (a)	(b) 定 期 健 康 診 断			(c) 定期健康診断以外の 検査で判明した者		
		結 核 検 査 受 検 者 数	結 核 被 患 者 数		結 核 被 患 者 数		
			呼 吸 器 系	そ の 他	呼 吸 器 系	そ の 他	
幼稚園	男女計	33	22	—	1	—	—
		274	242	8	—	—	1
		307	264	8	1	—	1
小学校	男女計	4,419	4,386	140	8	14	1
		3,854	3,801	55	1	10	—
		8,273	8,187	195	9	24	1
中学校	男女計	4,267	4,196	119	3	10	2
		1,194	1,168	21	—	2	—
		5,461	5,364	140	3	12	2
高等学校	男女計	474	459	28	—	2	—
		102	97	5	—	1	—
		576	556	33	—	3	—
盲学校	男女計	18	18	3	—	1	—
		9	9	—	—	—	—
		27	27	3	—	1	—
聾学校	男女計	28	28	3	—	—	—
		49	49	2	—	—	—
		77	77	5	—	—	—

最大血圧が 150mm 以上の者および

区 分	教 員 数		定 期 健 康 診 断		定期健康診断 以外の検査で 判明した者	計 (b) + (c)	最大血圧が 150 mm以上の者の 占める割合 % [(b)+(c)]/(a)	
	総 数	う ち 40才以上の 者 (a)	血 圧 検 査 受 検 者 数	最大血圧が 150mm以 上の者 (b)	最大血圧が 150mm以 上の者 (c)			
幼稚園	男女計	33	28	13	1	1	2	6.3
		274	57	28	2	2	4	7.0
		307	85	41	3	3	6	7.0
小学校	男女計	513	173	171	39	3	42	24.2
		464	75	73	6	1	7	9.3
		977	248	244	45	4	49	15.7
中学校	男女計	754	179	177	31	1	32	18.5
		216	32	32	3	—	3	9.3
		970	211	209	34	1	35	16.5
高等学校	男女計	474	207	194	34	6	40	19.3
		102	35	30	3	1	4	11.4
		576	242	224	37	7	44	18.1
盲学校	男女計	18	9	9	—	—	—	—
		9	3	3	—	—	—	—
		27	12	12	—	—	—	—
聾学校	男女計	28	12	12	2	—	2	16.6
		49	13	13	2	—	2	15.3
		77	25	25	4	—	4	16.0

患者数および被患率

結核被患者総数 (b) + (c)			結核被患率 [(b) + (c)] / a %		
呼吸器系	その他	計	呼吸器系	その他	計
—	1	1	—	3.03	3.03
8	1	9	2.92	0.36	3.28
8	2	10	2.61	0.65	3.26
154	9	163	3.48	0.20	3.69
65	1	66	1.69	0.03	1.71
219	10	229	2.65	0.12	2.77
129	5	134	3.02	0.12	3.14
23	—	23	1.93	—	1.93
152	5	157	2.78	0.09	2.87
30	—	30	6.33	—	6.33
6	—	6	5.88	—	5.88
36	—	36	6.25	—	6.25
4	—	4	22.22	—	22.22
4	—	4	14.81	—	14.81
3	—	3	10.71	—	10.71
2	—	2	4.08	—	4.08
5	—	5	6.49	—	6.49

疾病異常による休職者長期欠勤者

疾病異常による休職者				疾病異常による長期欠勤者					
結核被患者数		成人病 被患者数	その他	計	結核被患者数		成人病 被患者数	その他	計
呼吸器系	その他				呼吸器系	その他			
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	1	—	—	1	—	—	—	—	—
—	1	—	—	1	—	—	—	—	—
1	—	—	—	1	—	—	—	1	1
—	—	—	1	1	1	—	—	3	4
1	—	—	1	2	1	—	—	4	5
2	—	—	—	2	1	1	—	1	3
—	—	—	—	—	—	—	1	1	2
2	—	—	—	2	1	1	1	2	5
1	—	2	—	3	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	1	—	1	—	2
1	—	2	—	3	1	—	1	—	2
—	—	—	—	—	—	—	1	—	1
—	—	—	—	—	—	—	1	—	1
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

昭和 37 年 度 学校施設統計調査結果の概要

学 事 統 計 係

学校施設の概況

学校施設調査は統計法による指定統計第13号として5月1日現在で各学校の施設について調査したもので、本県における昭和37年度の学校施設は次のとおりである。

なお後日文部省の公表をもつて確定数とする。

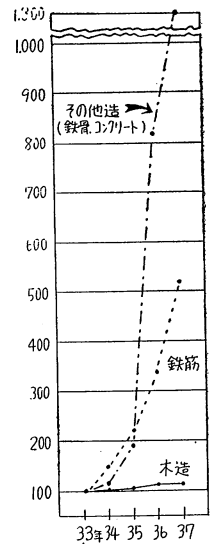
1 構造別にみた学校建物

学校の建物は年々増加しており、本年度の公立学校についてみると前年度より15,350坪(2.6%)増加している。とくに中学校においては前年より9,028坪(5.4%)も多くなり、生徒の急増による施設の対策に苦心の様がみうけられる。

建物の構造は木造が圧倒的に多いが今年は昨年より8,871坪少なくなっている、これは火災により焼失したものや木造建物を鉄筋などの建物に造りかえたためとみられる。

このように学校建物は(2)表のとおり、ここ数年のあいだ急激に鉄筋などの近代建築に移行しつつあることを示している。

構造別建物の増加率



(1) 学校建物の累年比較 (公立学校)

区 分	総 数	木 造	鉄筋コンクリート造	その他造
昭和33年度	511,814 (100.0)	501,259 (97.9)	9,830 (1.9)	725 (0.1)
34	522,913 (100.0)	508,083 (99.2)	14,014 (2.7)	816 (0.2)
35	538,959 (100.0)	516,078 (95.8)	21,505 (4.0)	1,376 (0.3)
36	585,158 (100.0)	545,829 (93.3)	33,383 (5.7)	5,946 (1.0)
37	600,508 (100.0)	536,958 (89.4)	50,529 (8.4)	13,021 (2.2)

(2) 建物の構造別変化 (公立全学校)

区 分	総 数	木 造	鉄筋コンクリート造	その他造
昭和33年度	100	100	100	100
34	102.2	101.4	142.6	112.6
35	105.3	103.0	218.8	189.8
36	114.3	108.9	339.6	820.1
37	117.3	107.1	514.0	1,796.0

2 用途別にみた学校建物

学校建物がどのように使われているかは第3表のとおりで、これを公立学校についてみると

一般校舎 568,915坪 (94.7%) で構堂屋内運動場29,805坪 (5.0%) 寄宿舎1,788坪 (0.3%) となっており一般校舎の内訳は普通教室 235,549坪 (41.4%)、実験実習室 51,295坪 (9.0%)、管理関係その他 282,071坪 (49.6%) となっている。

3 学校の1人当り校舎使用面積

幼稚園、小学校、中学校、高等学校の1人当りの校舎

坪数は(3)表のとおりで各学校とも例年よりよくなつて来ており、中学校でも昨年よりは伸びをみせてきている。

(3) 1人当り校舎坪数(公立)

区分	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	
昭和37年度	0.9	1.2	1.1	2.0	(注) ここにいう校舎とは普通教室、実験実習室管理関係その他のことである。
36	0.8	1.1	1.0	1.6	
35	0.8	1.0	1.1	1.6	
34	0.8	0.9	1.2	1.5	
33	0.8	0.9	1.2	1.4	

第1表 学校施設総括表

本来の学校建物の面積(単位坪)

設置者別	総計	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	盲学校	ろう学校	養護学校	各種学校
公立	600,508	3,145	319,192	175,149	100,127	1,171	1,724	—	289
私立	13,525	3,336	—	766	9,423	—	—	—	22,156

本来の学校土地の面積(単位坪)

公立	4,937,882	14,416	2,018,728	1,963,090	922,861	6,118	9,669	3,000	414
私立	62,447	17,731	—	2,711	42,005	—	—	—	365,397

〔注〕 教職員住宅はこの中に含めてない。

総計の中には各種学校を除いて計上した、以下各表とも同じ

第2表 建物の構造別坪数

区分	合計	木造	鉄筋コンクリート造	その他の造	
公立	総計	600,508	536,958	50,529	13,021
	幼稚園	3,145	3,115	—	30
	小学校	319,192	303,435	13,933	1,824
	中学校	175,149	142,844	25,289	7,016
	高等学校	100,127	85,642	10,377	4,108
	盲学校	1,171	317	820	34
	ろう学校	1,724	1,605	110	9
	養護学校	—	—	—	—
私立	各種学校	289	170	119	—
	総計	13,525	10,796	2,573	156
	幼稚園	3,336	3,143	63	130
	中学校	766	412	354	—
	高等学校	9,423	7,241	2,156	26
各種学校	22,156	19,788	1,753	615	

第 3 表 校舎およびその他の建物面積

区 分	校 舎 の 内 訳				そ の 他 の 建 物			
	計	普通教室	実験実習室	管理関係 その他	講堂、屋 内運動場	寄 宿 舎	教 職 員 宅	
公 立	総 計	568,915	235,549	51,295	282,071	29,805	1,788	5,610
	幼稚園	3,097	1,560	—	1,537	48	—	—
	小学校	312,935	143,531	11,460	157,944	6,257	—	3,958
	中学校	168,085	69,676	15,713	82,696	7,055	9	943
	高等学校	83,225	20,180	24,023	39,022	16,235	667	606
	盲学校	616	198	73	345	91	464	77
	ろう学校	957	404	26	527	119	648	26
	養護学校	0	—	—	—	—	—	—
	各種学校	142	44	29	69	—	147	—
	私 立	総 計	11,872	5,871	990	5,011	1,379	274
幼稚園	2,981	1,875	—	1,106	355	—	194	
中学校	664	327	—	337	102	—	—	
高等学校	8,227	3,669	990	3,568	922	274	136	
各種学校	14,771	7,094	1,588	6,089	528	6,857	2,209	

第 4 表 学校土地の用途別面積

区 分	計	屋外運動場	実験実習地	校舎敷地 その他	借用の土地 (再掲)	
公 立	総 計	4,937,882	2,751,155	402,940	1,783,787	444,386
	幼稚園	14,416	9,286	—	5,130	646
	小学校	2,018,728	1,220,615	26,288	771,825	102,793
	中学校	1,963,090	1,201,600	149,071	612,419	154,603
	高等学校	922,861	315,508	226,447	380,906	186,344
	盲学校	6,118	1,500	—	4,618	—
	ろう学校	9,669	2,646	1,134	5,889	—
	養護学校	3,000	—	—	3,000	—
	各種学校	414	—	—	414	220
	私 立	総 計	62,447	38,710	—	23,737
幼稚園	17,731	12,721	—	5,010	2,675	
中学校	2,711	1,859	—	852	—	
高等学校	42,005	24,130	—	17,875	28,011	
各種学校	365,397	18,755	207,484	139,158	7,773	

第 5 表 新築等の面積

区 分	新 改 築	購 入 寄 付	用途変更による増	用途変更による減	
公 立	総 計	32,251	704	1,603	7,235
	幼稚園	112	—	—	6
	小学校	7,820	657	1,424	2,376
	中学校	19,188	16	85	4,688
	高等学校	5,036	31	94	165
	盲学校	54	—	—	—
	ろう学校	41	—	—	—
	養護学校	—	—	—	—
	各種学校	—	—	—	—
	私 立	総 計	1,179	—	593
幼稚園	164	—	—	—	
中学校	—	—	—	—	
高等学校	278	—	—	—	
各種学校	737	—	593	—	

茨城県 毎月勤労統計調査結果速報 (昭和37年11月分)

第1表 産業常用労働者の種類別及び性別1日平均月間現金給与額並びに産業別臨時及び日雇労働者の1人1日平均現金給与額 (規模30人以上) (単位円)

産 業 名	現金給与総額			きまつて支給する給与			特別に支払われた給与			臨時及び日雇労働者の1日平均現金給与額
	総額	男子	女子	総額	男子	女子	総額	男子	女子	
全 常 用 労 働 者										
総 数	20,318	23,151	11,623	20,176	22,982	11,567	142	169	56	635
D 鉱 業	25,523	26,851	9,804	24,883	26,181	9,529	640	670	275	416
E 建 設 業	18,290	20,219	9,570	18,245	20,174	9,570	45	45	—	960
F 製 造 業	18,700	21,279	10,446	18,674	21,248	10,436	26	31	10	545
18 食 料 品	17,749	22,198	10,095	17,749	22,198	10,095	—	—	—	433
20 織 維 工 業	13,091	25,105	9,658	13,091	25,105	9,658	—	—	—	385
26 化 学 工 業	19,392	23,518	10,108	19,392	23,518	10,108	—	—	—	481
30 窯 業 土 石 製 品	22,493	24,736	11,391	22,479	24,722	11,391	14	14	—	635
32 非 鉄 金 属	22,132	24,566	11,190	22,132	24,566	11,190	—	—	—	683
33 金 属 製 品	13,851	16,577	9,302	13,804	16,527	9,260	47	50	42	—
34 機 械 製 造 業	16,838	17,953	12,845	16,605	17,695	12,701	233	258	144	—
35 電 気 機 械 器 具 製 造 業	18,665	20,874	9,984	18,665	20,874	9,984	—	—	—	—
19.38.39 そ の 他	21,309	24,793	15,369	21,309	24,793	15,369	—	—	—	614
G 卸 売 及 び 小 売 業	21,389	30,709	11,831	18,216	24,562	11,202	3,173	6,147	629	481
H 金 融 及 び 保 険 業	24,317	30,277	15,320	24,317	30,277	15,320	—	—	—	—
I 不 動 産 業	18,139	21,904	9,786	18,139	21,904	9,786	—	—	—	—
J 運 輸 通 信 業	24,956	28,088	15,848	24,853	28,010	15,678	103	78	170	446
K 電 気 ガ ス 水 道 業	31,020	31,596	16,452	31,020	31,596	16,452	—	—	—	—
L 医 療 保 健 業	23,452	34,162	16,840	23,452	34,162	16,840	—	—	—	434
生 産 労 働 者										
D 鉱 業	24,845	25,829	8,972	24,626	25,610	8,751	219	219	221	—
E 建 設 業	16,643	18,627	8,152	16,643	18,627	8,152	—	—	—	—
F 製 造 業	16,079	18,251	9,649	16,046	18,210	9,639	33	41	10	—
18 食 料 品	15,488	19,931	9,154	15,488	19,931	9,154	—	—	—	—
20 織 維 工 業	10,755	18,646	9,345	10,755	18,646	9,345	—	—	—	—
26 化 学 工 業	16,405	20,045	9,272	16,405	20,045	9,272	—	—	—	—
30 窯 業 土 石 製 品	21,414	23,484	9,994	21,414	23,484	9,994	—	—	—	—
32 非 鉄 金 属	19,261	20,776	11,101	19,261	20,776	11,101	—	—	—	—
33 金 属 製 品	12,368	14,422	8,776	12,321	14,372	8,734	47	50	42	—
34 機 械 製 造 業	14,129	15,056	12,407	13,877	14,782	12,245	252	274	162	—
35 電 気 機 械 器 具 製 造 業	15,964	17,823	9,214	15,964	17,823	9,214	—	—	—	—
19.38.39 そ の 他	18,615	20,746	15,433	18,615	20,746	15,433	—	—	—	—
管 理 事 務 及 び 技 術 労 働 者										
D 鉱 業	29,194	33,239	11,233	26,274	29,739	10,867	2,920	3,500	366	—
E 建 設 業	21,326	23,075	12,608	21,281	23,030	12,608	45	45	—	—
F 製 造 業	24,839	27,947	12,752	24,828	27,936	12,741	11	11	11	—
18 食 料 品	24,778	27,568	15,367	24,778	27,568	15,367	—	—	—	—
20 織 維 工 業	25,301	33,760	13,055	25,301	33,760	13,055	—	—	—	—
26 化 学 工 業	25,306	29,573	12,364	25,306	29,573	12,364	—	—	—	—
30 窯 業 土 石 製 品	26,111	29,284	14,726	26,097	29,270	14,726	14	14	—	—
32 非 鉄 金 属	25,900	29,910	11,275	25,900	29,910	11,275	—	—	—	—
33 金 属 製 品	21,270	28,780	11,527	21,270	28,780	11,527	—	—	—	—
34 機 械 製 造 業	24,042	28,654	12,251	23,871	28,456	12,150	171	198	101	—
35 電 気 機 械 器 具 製 造 業	24,189	26,812	11,881	24,189	26,812	11,881	—	—	—	—
19.38.39 そ の 他	28,373	33,704	15,137	28,373	33,704	15,137	—	—	—	—

産業常用労働者の種類別及び性別1日平均月間実労働時間数及び出勤日数
(規模30人以上) (単位時間、日)

第2表

産 業 名	総実労働時間数			所定内労働時間数			所定外労働時間数			出 勤 日 数		
	総 数	男 子	女 子	総 数	男 子	女 子	総 数	男 子	女 子	総 数	男 子	女 子
全 常 用 勞 働 者												
総 数	197.7	201.0	188.2	179.9	179.8	180.7	17.8	21.2	7.5	23.9	24.0	23.9
D 鉱 業	201.7	202.5	191.5	174.3	173.8	179.6	27.4	28.7	11.9	23.8	23.8	24.8
E 建 設 業	186.9	188.2	181.6	177.4	177.7	176.3	9.5	10.5	5.3	22.8	22.8	22.9
F 製 造 業	198.5	203.5	182.3	180.2	181.5	175.8	18.3	22.0	6.5	23.8	24.1	23.1
18 食 料 品	195.5	205.4	178.4	176.6	180.7	169.5	18.9	24.7	8.9	26.1	28.6	22.0
20 織 維 工 業	182.2	195.4	178.4	176.3	178.7	175.5	5.9	16.7	2.8	22.8	23.8	22.5
26 化 学 工 業	205.4	216.7	180.0	186.9	191.5	176.6	18.5	25.2	3.4	23.9	24.4	22.9
30 窯 業 土 石 製 品	199.1	201.4	186.9	177.8	177.1	180.9	21.3	24.3	6.0	23.0	22.9	23.5
32 非 鉄 金 属	204.1	209.4	180.3	171.4	171.1	173.0	32.7	38.3	7.3	23.4	23.4	23.2
33 金 属 製 品	187.3	188.1	185.9	176.1	174.4	178.9	11.2	13.7	7.0	22.3	22.0	22.9
34 機 械 製 造 業	195.2	197.4	187.6	183.2	183.4	182.5	12.0	14.0	5.1	23.7	23.6	23.8
35 電 機 機 器 具 製 造 業	198.6	202.4	183.9	181.3	182.5	176.5	17.3	19.9	7.4	24.1	24.3	23.1
19.38.39 そ の 他	188.8	197.8	173.7	174.3	178.2	167.8	14.5	19.6	5.9	23.0	23.6	22.0
G 卸 売 及 び 小 売 業	208.4	208.5	208.2	197.0	194.6	199.6	11.4	13.9	8.6	25.4	25.4	25.4
H 金 融 及 び 保 険 業	186.0	189.6	180.5	173.5	172.9	174.4	12.5	16.7	6.1	24.5	24.6	24.4
I 不 動 産 業	208.8	215.8	193.1	187.2	187.7	186.1	21.6	28.1	7.0	25.0	25.0	24.8
J 運 輸 通 信 業	192.3	195.9	182.1	175.1	176.6	170.8	17.2	19.3	11.3	23.5	23.5	23.6
K 電 気 ガ ス 水 道 業	170.0	170.1	169.6	152.4	152.0	163.9	17.6	18.1	5.7	22.5	22.5	23.0
L 医 療 保 健 業	202.7	205.4	200.9	187.3	187.6	187.0	15.4	17.8	13.9	24.4	24.6	24.3
生 産 勞 働 者												
D 鉱 業	201.4	201.8	194.2	173.0	172.5	181.2	28.4	29.3	13.0	23.7	23.6	24.5
E 建 設 業	183.6	185.6	175.5	174.2	175.0	171.1	9.4	10.6	4.4	22.1	22.1	22.2
F 製 造 業	198.6	202.9	181.0	178.7	180.2	174.3	19.9	22.7	6.7	23.5	23.9	22.6
18 食 料 品	193.3	205.7	175.7	171.7	175.3	166.5	21.6	30.4	9.2	26.3	29.7	21.5
20 織 維 工 業	181.4	203.5	177.5	176.1	184.5	174.6	5.3	19.0	2.9	22.5	23.0	22.4
26 化 学 工 業	205.1	219.9	175.9	184.0	189.6	173.0	21.1	30.3	2.9	23.7	24.3	22.4
30 窯 業 土 石 製 品	198.1	200.8	183.4	174.9	174.5	177.2	23.2	26.3	6.2	22.7	22.5	23.0
32 非 鉄 金 属	215.3	221.0	184.9	172.8	171.9	178.0	42.5	49.1	6.9	23.6	23.6	23.8
33 金 属 製 品	185.1	184.9	185.3	174.0	171.6	178.0	11.1	13.3	7.3	22.1	21.6	22.8
34 機 械 製 造 業	193.6	195.4	186.1	182.2	182.4	181.3	11.4	13.0	4.8	23.4	23.3	23.6
35 電 機 機 器 具 製 造 業	196.2	200.4	180.8	179.4	181.2	172.8	16.8	19.2	8.0	23.8	24.1	22.7
19.38.39 そ の 他	186.8	199.4	168.3	170.7	176.3	162.5	16.1	23.1	5.8	22.6	23.4	21.3
管 理 事 務 及 び 技 術 勞 働 者												
D 鉱 業	203.0	206.7	187.0	181.1	182.1	176.8	21.9	24.6	10.2	25.3	25.3	25.3
E 建 設 業	193.3	192.8	194.9	183.5	182.6	187.5	9.8	10.2	7.4	24.3	24.3	24.3
F 製 造 業	201.0	204.9	186.0	183.5	184.4	180.0	17.5	20.5	6.0	24.5	24.6	24.2
18 食 料 品	202.4	204.9	194.2	192.0	193.6	186.7	10.4	11.3	7.5	25.6	25.8	24.9
20 織 維 工 業	186.2	184.6	188.9	177.3	171.0	186.6	8.9	13.6	2.3	24.2	24.8	23.3
26 化 学 工 業	206.0	211.0	191.0	192.6	194.7	186.2	13.4	16.3	4.8	24.4	24.5	24.2
30 窯 業 土 石 製 品	201.9	203.8	195.0	187.4	186.7	189.7	14.5	17.1	5.3	24.1	23.9	24.7
32 非 鉄 金 属	189.3	193.0	175.7	169.6	169.9	168.2	19.7	23.1	7.5	23.1	23.3	23.0
33 金 属 製 品	200.4	205.7	188.3	189.0	189.9	182.6	11.4	15.8	5.7	23.5	24.0	23.1
34 機 械 製 造 業	200.9	204.7	191.0	186.7	187.2	185.2	14.2	17.5	5.8	24.6	24.8	24.1
35 電 機 機 器 具 製 造 業	203.7	206.2	191.8	185.3	185.1	185.9	18.4	21.1	5.9	24.7	24.8	24.4
19.38.39 そ の 他	194.1	194.1	193.8	183.8	182.3	187.3	10.3	11.8	6.5	24.1	23.9	24.6

産業常用労働者の種類及び性別月末及び増加減少推計労働者数並びに産業別臨時及び日雇

第3表 労働者の年月推計延人員（規模30人以上）（単位、人）

前月末労働者数			本月中の増加			本月中の減少			本月末労働者数			臨時及び日雇労働者の 月間推計延 人員
総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	
130,730	99,153	31,577	1,847	1,085	762	2,597	1,763	834	129,980	98,475	31,505	191,083
9,868	9,099	769	321	301	20	170	162	8	10,019	9,238	780	8,022
5,743	4,684	1,059	79	73	6	98	60	38	5,724	4,697	1,027	29,149
86,044	65,621	20,423	1,106	541	565	2,061	1,409	652	85,089	64,753	20,336	14,451
3,415	2,216	1,199	312	75	237	45	19	26	3,682	2,272	1,410	5,458
1,543	341	1,202	21	11	10	43	12	31	1,521	340	1,181	1,576
1,705	1,169	536	11	6	5	57	15	42	1,659	1,160	499	129
3,803	3,164	639	83	69	14	39	34	5	3,847	3,199	648	1,993
6,408	5,237	1,171	110	44	66	154	70	84	6,364	5,211	1,153	2,468
1,468	921	547	4	1	3	63	44	19	1,409	878	531	—
5,030	3,930	1,100	24	17	7	62	42	20	4,992	3,905	1,087	—
45,687	36,452	9,235	286	151	135	1,278	990	288	44,695	35,613	9,082	—
1,975	1,244	731	11	6	5	14	6	8	1,972	1,244	728	332
7,535	3,950	3,585	161	59	102	126	30	96	7,570	3,979	3,591	29,592
4,418	2,657	1,761	91	51	40	25	10	15	4,484	2,698	1,786	—
381	264	117	10	3	7	5	2	3	386	265	121	—
14,818	11,028	3,790	58	36	22	85	63	22	14,791	11,011	3,790	9,869
1,923	1,850	73	21	21	—	27	27	—	1,917	1,844	73	—
3,106	1,191	1,915	50	8	42	40	15	25	3,116	1,184	1,932	864
8,319	7,833	486	304	291	13	160	155	5	8,463	7,969	494	—
3,764	3,036	728	75	73	2	96	60	36	3,743	3,049	694	—
60,269	45,138	15,131	917	411	506	1,528	1,047	481	59,658	44,502	15,156	—
2,552	1,548	1,004	300	68	232	34	8	26	2,818	1,608	1,210	—
1,298	195	1,103	10	5	5	34	5	29	1,274	195	1,079	—
1,142	746	396	6	1	5	55	13	42	1,093	734	359	—
2,933	2,482	451	73	64	9	30	26	4	2,976	2,520	456	—
3,587	3,046	541	97	31	66	23	10	13	3,661	3,067	594	—
1,234	787	447	—	—	—	63	44	19	1,171	743	428	—
3,871	3,098	773	16	11	5	58	41	17	3,829	3,068	761	—
30,741	24,127	6,614	203	92	111	974	740	234	29,970	23,479	6,491	—
1,431	857	574	7	2	5	12	5	7	1,426	854	572	—
1,549	1,266	283	17	10	7	10	7	3	1,556	1,269	287	—
1,979	1,648	331	4	—	4	2	—	2	1,981	1,648	333	—
25,775	20,483	5,292	189	130	59	533	362	171	25,431	20,251	5,180	—
863	668	195	12	7	5	11	11	—	864	664	200	—
245	146	99	11	6	5	9	7	2	247	145	102	—
563	423	140	5	5	—	2	2	—	566	416	140	—
870	682	188	10	5	5	9	8	1	871	679	192	—
2,821	2,192	630	13	13	—	131	60	71	2,703	2,144	559	—
234	134	100	4	1	3	—	—	—	238	135	103	—
1,159	832	327	8	6	2	4	1	3	1,163	837	326	—
14,946	12,325	2,621	83	59	24	304	250	54	14,725	12,134	2,591	—
544	387	157	4	4	—	2	1	1	546	390	156	—

茨城県産業総合指数

(昭和35年基準)

年次	産業総合	公益事業	鉱工業	業				製造業
				石炭鉱業	金属鉱業	非金属	金属業	
ウエイト	100.0	0.60	99.40	11.42	70.92	25.69	3.39	88.58
31年平均	—	—	43.80	85.42	80.46	107.05	43.58	38.38
32	—	—	59.45	98.65	94.00	119.26	55.50	54.41
33	—	—	67.21	90.62	91.17	94.44	49.45	64.21
34	—	—	86.20	86.46	84.99	95.03	52.59	86.17
35	—	—	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
36年平均	132.31	96.86	132.52	102.92	101.79	103.76	120.25	136.34
36年8月	141.39	80.68	141.76	88.58	94.79	65.54	132.97	148.61
37年6月	121.63	89.61	121.84	110.61	101.65	118.50	238.42	123.30
7月	106.16	92.98	106.25	98.06	94.40	104.84	123.70	107.32
8月	110.70	98.60	110.78	92.67	86.86	108.61	93.55	113.12

年次	製 造 業							
	鉄鋼業	非鉄金属工	機械工業	電気機械	輸送機械	精密機械	窯業	化学工業
ウエイト	2.92	17.21	10.47	27.99	2.38	0.83	4.95	2.58
31年平均	67.55	35.00	65.09	19.50	240.67	12.97	67.30	72.36
32	91.63	44.65	111.07	49.21	44.08	14.49	83.30	74.35
33	69.71	39.42	104.15	46.25	153.90	25.22	74.54	77.57
34	83.07	75.44	111.82	68.08	286.34	36.30	81.18	84.92
35	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
36年平均	128.52	140.20	155.80	143.77	193.60	155.45	100.35	107.00
36年8月	113.49	162.41	131.49	203.56	198.92	166.00	120.73	125.81
37年6月	141.36	100.37	189.01	129.95	251.93	474.13	71.66	104.90
7月	110.69	28.71	107.33	137.70	229.83	550.05	105.84	83.79
8月	87.56	79.05	133.34	141.53	192.75	530.84	95.42	79.32

年次	製 造 業								
	石油、石炭製品製造業	皮革同製品製造業	パルプ紙紙加工品製造業	繊維工業	木材及び木製品製造業	食料品製造業	たばこ製造業	その他の製造業	
ウエイト	0.28	0.14	1.43	2.31	3.96	10.44	7.13	4.9	
31年平均	32.64	98.28	41.75	135.07	67.92	61.31	—	74.42	
32	35.80	93.68	44.59	93.42	62.62	61.54	—	77.80	
33	30.97	90.84	48.18	92.58	61.56	65.31	—	82.14	
34	36.15	89.09	59.53	96.40	85.55	75.00	—	102.63	
35	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	—	100.00	
36年平均	96.24	117.94	120.46	142.27	106.76	169.52	81.79	130.22	
36年8月	92.99	133.63	133.89	156.68	100.98	66.31	33.54	168.76	
37年6月	95.55	162.25	154.16	172.70	94.92	83.72	84.36	89.33	
7月	100.08	158.43	167.05	162.99	93.91	85.06	81.22	81.22	
8月	97.38	174.62	162.62	145.97	95.26	72.56	83.87	83.87	

★統計資料案内★

<不 定 期 刊 行 物>

資 料 名	調査年 刊行年	発 行 者	資 料 名	調査年 刊行年	発 行 者
土地・人口			愛媛県商業事業所物資流通 調査結果速報	37	愛媛県総務部統計 課
人口問題研究	37	厚生省人口問題研 究所	大阪府勢要覧	1962	大阪府
人口変動経済成長に関する 序説	//	//	統計ハンドブック	1962	京都市
人口問題研究所年報	//	//	香川県勢一覧	//	香川県
国勢調査報告(埼玉)	35	総理府統計局	卒業後の状況調査報告	37	大阪府
“(秋田)”	//	//	卒業者のゆくえ	37	新潟県
商 工			統計資料		三重県統計課
工業統計表(市町村編)	35	通商産業大臣宮房 調査統計部	静岡県勢要覧	37	静岡県
経 済			北海道市町村勢要覧		北海道総務部統計 課
経済成長に伴う諸問題	1962	富士銀行調査部	税務統計書	36	佐賀県総務部税務 課
産業界の現状と見通し	//	//	“	//	福岡県総務部統計 課
昭和36年度国民所得報告	37	経済企画庁	東京都区市町村勢要覧	37	東京都
地方行財政調査資料	//	地方行財政調査会	第13回東京都統計年鑑	1961	“
そ の 他			熊本県統計年鑑	36	熊本県
科学技術研究調査結果速報	37	総理府統計局	群馬県家計調査報告	//	総務部統計課
統計年報	36	関東電気通信局	新潟県概要	1963	新潟県統計課
統計教育統計集録	37	文部省調査局統計 課	京都市勢統計年鑑	37	京都市
文部省第88年報	35	文 部 省	県民所得のその推計	35	兵庫県総務部文書 統計課
学校基本調査報告書	36	//	工業統計調査結果表	36	新潟県
都道府県			和歌山県鉱業の実態	//	和歌山県
事務概要	37	岐阜県総務部統計 課	神奈川県消費実態調査結果 報告	//	神奈川県
群馬県勢要覧	//	群馬県	長野県鉱工業生産指数速報	35	長野県
臨時給与の支給状況	//	大阪府総務部統計 課	茨城県の経済指標	37	常陽銀行
京都府鉱工業生産指数	35	京 都 府	開拓地営農実績調査書	//	茨城県農地部拓務 課
京都府府民所得	//	//	賃金調査結果報告	//	茨城県経営者協会
京都府統計書	//	//	茨城の犯罪	1961	茨城県警察本部
県民所得推計報告	//	埼 玉 県	茨城農林水産統計年報	//	農林省茨城統計調 査事務所
岩手県市町村勢要覧	1962	岩手県統計協会	茨城県産業総合生産指数	35	茨 城 県
土佐のすがた	37	高 知 県	茨城県立大洗水族館10カ 年の運営実績とその成果	37	商工労働部観光課
第13回全国統計大会	//	//	保健所活動の概況	36	茨城県衛生部
岐阜県経済と県民生活	37	岐 阜 県	茨城県産業総合生産指数	35	茨 城 県
岐阜県の県民所得	25~36	//	国勢調査報告	//	水 戸 市
宮崎県の工業	36	宮崎県総務部統計 課	主要夏作物生産統計	36	農林省茨城統計調 査事務所
富山県民所得白書	35	富 山 県	扶養家族手当の実態	37	茨城県経営者協会
島根県家計調査結果の概要	36	島根県統計課	事業統計	36	日本専売公社水戸 地方局
岐阜県勢要覧	1962	岐 阜 県			

閲 覧 統 計 か ら

統計課では各種統計資料を広く一般の方々に利用していただく、閲覧に関する業務を行なっております。

近頃のように世の中が複雑になつてまいりますと、今までのように勘に頼るやり方を改め、正確な信頼の出来る統計資料によつて、科学的、合理的な判断をして物事に対処しなければなりません。そのためか最近では統計に対する理解も深められ、利用者の層も厚くなつて、従来官公庁などが利用者のほとんどを占めていたものが、銀行、会社、商店なども相当に統計資料を利用するようになりました。

昭和37年中の閲覧統計をみると、庁内各課256件、庁外205件、合計461件となつております。庁内各課では総合開発事務局の利用度が高く、これについて、港湾課、労政課、職業安定課などが比較的多い。庁外は利用者層が広く、銀行などの利用が割合に多いが、そのほかに、会社、官公庁、学生などが主な利用者であります。

利用の時期は6月から多くなり、8月が最も多く、冬の間は比較的用户者が少ないようです。

さてどのような種類の統計が多く利用されているかということは非常に興味深いものであると思いますが、そのまゝに統計課にはどのような統計資料が送付されて来るかを参考までに調べてみましょう。

昭和37年についてみると、月報関係では通産省の16種をはじめ、総理府統計局の11種そのほか労働、農林、大蔵、文部など政府機関の各省庁から送付されて来る月報だけでも55種を数え、これ以外に銀行、会社などが刊行している月報、各都道府県から送付されて来る月報を加えると100種以上にのぼり、また政府機関、都道府県、銀行、会社、団体、県の各機関から送付されて来る年報調査結果報告書、研究結果等の図書は700冊にもものぼつております。

ここで、どのような種類の統計資料が利用されている

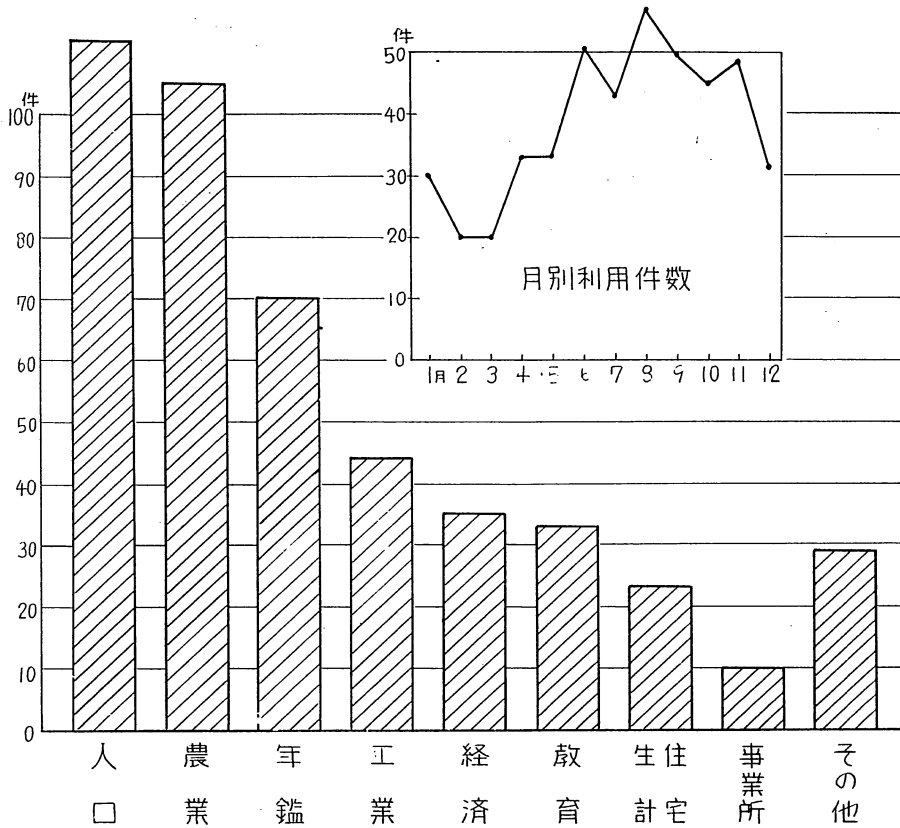
かを、昭和37年の閲覧統計からみてみると、グラフをみていただければよくわかりと思いますが、人口と農業関係の資料がよく利用されております。人口のうちでは国勢調査結果報告書の利用が最も多く、これについて毎月人口世帯移動調査結果、住民登録人口移動報告などが多く利用されている。

農業関係では世界農林業センサス、農業基本調査結果など、年鑑では、茨城県統計書、日本統計年鑑などが、工業では工業統計調査結果、経済関係では県民所得が、主に利用されております。

閲覧統計からみた利用状況は今までに述べた通りですが、このほか最近では電話による照会が非常に多くなつており、この場合も出来る限りご要望に答えておりますがあまり時間がかかるものは調べに来ていただいております。電話照会の際に不思議に思うことがありますのは、統計課から、統計書、県勢要覧、県勢要図、月刊誌の統計茨城などを、庁内各課や市町村のほか主要官公庁に送付してありますが、これらの送付先から出版物に掲載されている事項を照会された時であります。統計資料はその時は必要でなくても、必ずいつか必要になつてくるものです。そのときになつて捨ててしまつたことを後悔してもはじまりません。ですから、統計課から送付されたものと限らず、各方面から送付されて来る資料は、利用者の方々も大切に保管しておくことがよいのではないのでしょうか。

今後ますます統計資料を利用する機会は多くなると考えられます。皆様のお手持の資料でおわかりにならないときは、どうぞ統計課において下さい、出来る限り皆様のご要求に応じられるようにいたします。統計茨城には統計資料案内のページもありますから、ここをご覧になればどのような資料が来ているかおわかりになると思います。

図書種類別利用件数 (37年)



豆 辞 典

デフレーター

消費水準、賃金、国民所得などの動きをみる場合名目的な動きのみをみるだけでは不十分である。というのはこれらは物価の変動によつてその実質的な値がわかるからである。2倍の賃金をもらうようになつてもその間に物価が2倍に騰貴すれば、実質的な賃金は前と同じであるとみなければならないからである。このように金額で表示されたものについてはかならずといつていい位、物価修正という問題がむすびついている。この修正は名目金額をそれに対応する物価指数で除ることによつておこなわれる。そしてこの物価指数をデフレーターとよび、その結果は実質賃金、実質国民所得などとよばれる。

賃金については労働省が毎月勤労統計調査の結果えられる平均賃金を指数化し、それを総理府統計局の消費者物価指数で除して実質賃金指数を作成している。国民所得については経済企画庁で農村物価指数、消費者物価指数、日銀の卸売物価指数の生産財指数、大蔵省の輸出入単価指数を用いて実質国民総支出が算出されている。

(行政管理庁統計講習会テキスト)

経済 スポット

県 内 経 済 の 推 移

国の富を決定するものは「年々の生産物」であるといわれます。このことは県という地域についても同じことがいえるでしょう。すなわち、高い経済成長をなすとげて県民生活を高めるためには、県内の生産規模が大きくなって年々の生産物の量が豊富になり、その質が次第に

向上していかなければなりません。そして、このような生産物を作り出すにない手は鉱工業、農林水産業その他もろもろの産業活動であります。このような県内の経済活動の実態を統計的に表現したものが県民所得です。

(第1表) 産 業 別 県 内 産 所 得

年 次 産 業 別	年 次			対 前 年 比		構 成 比		
	33 年	34 年	35 年	B/A	C/B	A	B	C
	A	B	C	%	%	%	%	%
総 額	154,471	178,069	204,946	115.3	115.1	100.0	100.0	100.0
第 1 次 産 業	54,101	60,247	64,599	111.4	107.2	35.0	33.8	31.5
第 2 次 産 業	34,804	44,311	56,645	127.3	127.8	22.5	24.9	27.6
第 3 次 産 業	65,566	73,511	83,702	112.1	113.9	42.5	41.3	40.9

昭和35年県民所得より

第1表は、昭和33年以降の県内生産所得ですが、この表から、県内の経済活動は第2次産業の大きな躍進について活発な推移を示しております。こうした生産活動のなかで最終生産物また純生産物（付加価値）を分配の過程では握したのが県民分配所得ですが、これを表示したのが第2表であります。

(第2表) 県 民 分 配 所 得 の 推 移

年 次	項 目 県 民 分 配 所 得	1 人 当 り		国 民 1 人 当 り を 100 と す る 格 差 %
		国 民 分 配 所 得	県 民 分 配 所 得	
昭和33年	154,060	90,934	73,761	81.1
〃 34年	173,431	103,894	83,624	80.5
〃 35年	196,644	114,308	96,100	78.5

この表から国民1人当りを100とする格差は昭和35年においては78.5%、全国第30位に位するわけですが、1人当り96,100円は昭和34年にくらべ14.9%の増加であり国における10.1%の増加率を大きく上回って逐次その較差を縮めつつあります。しかしながら、いままで表示した県民所得はその成長率においては15.1%と大きな伸長がありますが、分配所得でも分るように水準そのものはかなり低いといわなければなりません。

それでは、経済成長率が高いということは、どういうことを意味するかというと、このことは資本や労働力の付加価値生産が大きいかどうかということになります。つまり、資本や労働の付加価値生産性が高いとすると付

加価値の増加に伴って必要とされる資本や労働力の量も少なくて済むようになり、労働や資本の付加価値生産性の高い産業部門の比重が大きいくほど成長率が高いこととなります。

また、付加価値は賃金と利潤を合計したものですから労働生産性や資本生産性が高いということは、高い賃金や大きなうけが得られることとなります。したがって労働や資本は労働生産性や資本生産性の高いところへ移動するわけです。こうした推移を示したのが第3表であります。

(第3表) 年 次 別 産 業 別 就 業 者

年 次 産 業 別	年 次		
	昭 和 30 年	昭 和 35 年	増 減
総 数	967,292	1,017,575	5.2
第 1 次 産 業	618,300	537,863	△14.9
第 2 次 産 業	120,627	176,449	46.3
第 3 次 産 業	228,334	267,125	17.0

(注) 35年国調より

総数のうちに分数不能分を含むので計に一致しない。

つまり、昭和30年にくらべてみると、第2次産業の就業者は46.3%と増大したが、第1次産業は反対に14.9%の減少を示しております。

第4表 産業別就業者構成比

産業別	年次		
	昭 33年	昭 34年	昭 35年
第1次産業	59.8	58.6	56.4
第2次産業	14.9	15.6	17.3
第3次産業	25.3	25.8	26.3

また、第4表でわかりますように、第1次産業の就業者構成比が、年々漸少しているのと対照的に第2次産業のそれは年々増加を示しております。

このことは、第1次産業から他の産業への流動を物語るものといえましょう。

ところで、産業別県民所得からみて、産業別付加価値労働生産性がどのようになっているかについて考えてみますと、それにはまず、本県の全有業人口の産業別構成がどうということになっているかをみなければなりません。(第4表参照)

つまり、昭和33年では、有業人口のうち、約60%が第1次産業に従事し、第2次産業には僅か約15%、第3次産業にはその残りの25%が従事していることになります。これを、昭和35年についてみると、その後の経済が成長するにつれて、第1次産業の比重が次第に減少し、これに対し第2次、第3次はそれぞれ増加をみせております。このように経済が発展するにつれて、第1次産業の付加価値や労働人口の比重はたえず相対的に減少しますが、これとは逆に第2次産業の比重がふえ、次いで第3次産業もふえてまいります。

こうした傾向をイギリスのペティという学者は、第1次産業の就業者が第2次産業、第3次産業へと動くのは農業より工業、商業がいつそうもうかるからだという意味とのこを言っております。

第5表 産業別付加価値相対生産性

産業別	年次		
	昭 33年	昭 34年	昭 35年
全産業	100.0	100.0	100.0
第1次産業	58.5	57.7	55.9
第2次産業	151.0	159.6	159.5
第3次産業	168.0	160.1	155.5

こうした産業部門別の就業人口構成比で、前述の付加価値の構成比で割ると産業の「付加価値相対生産性」(または比較生産性)というものが計算されます。たとえば第5表をみてもわかりますように昭和35年の第1次産業の相対生産性は55.9%、第2次産業のそれは159.5%ということになります。

全産業の生産性は当然に100と計算されるから、この第1次産業の相対生産性の値は全産業を平均した生産性の55.9%でかなり低いことを意味します。これに対し、第2次産業は全産業の平均生産性より59.5%も高いことを示します。

このように、第1次産業の生産性は第2次産業の生産性の約3分の1位で、かなりその較差を開いております。ということは、農業というものは、固定産業に比べ多くの就業者をかかえており、しかも家族経営を母体とするため、機械を広く導入することにも問題点があり、また、仮に機械や肥料等を導入したとしても、それだけで直ちに生産というのが工業と違って逡増的にふえるものでないといわれます。したがって、生産性の向上を図るために農業人口を一貫して減少させるという条件が生まれるわけです。しかし、技術のいちじるしい進歩があつて、機械化という条件が整えられるということになれば、このような難点も解決されるかも知れません。

第6表 年次別県民分配所得(割合)

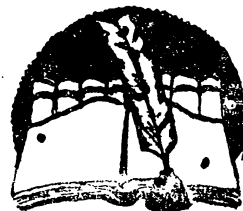
産業別	年次		
	昭 33年	昭 34年	昭 35年
総額	100	100	100
勤労所得	39.6	41.9	40.6
個人業主所得	48.2	46.1	44.9
財産所得	12.2	12.0	14.5

昭和35年県民所得より

また、第6表は県民分配所得を勤労所得と個人業主所得と財産所得の三者の割合を表わしたものです。この表から、昭和33年には個人業主所得が全体の48.2%を占めていることが分ります。つまり、個人業主所得の割合が非常に大きいということです。それが、昭和35年には、勤労所得40.6%、個人業主所得44.9%と勤労所得や財産所得の割合が増加したのに対し個人業主所得の割合は下降しております。すなわち、徐々にではあるが個人企業が減少しつつあるということが解るわけです。

本稿は昭和37年度最終号でありますので昭和35年県民所得の数値を使つて県内経済を概観してみました。

(横須賀)



市 町 村 の 横 顔

新 利 根 村



大貫村長

概 況

この村は、稲敷郡の中部にあつて北は小野川、羽賀沼を隔てて江戸崎町に接し、東は東村に、南は河内村にそれぞれ隣接している。

地勢はおおむね平坦であるが、中央部には丘陵が、広大な水田地帯の中に隆起しており、新利根川、小野

川、八子川及び羽賀沼などが灌漑の便を与えている。

この村は、旧根本村、柴崎村、大田村の三カ村が、増大する自治体の事業と、これに伴う財政の切迫を理由に早くから合併の必要が認識されていたので、町村合併促進法が施行されると、いち早く合併を実現し、昭和30年4月1日に村名もこの村を流れる新利根川にちなんで新利村として発足したのであります。

水戸からこの村へは、常磐線で土浦へ、土浦から霞ヶ浦をいかに江戸崎町へ、更にここから竜ヶ崎か取手行のバスに乗って役場のある柴崎まで、乗りかえの待ち時間を入れなくても3時間はたつぷりかかる。だからこの村から水戸への出張は大変なものである。

面積は29.59km²で国勢調査による人口は9,489人県下の市町村では小規模に属する。耕地は畑の463haにくらべ、田はその4倍近くにあたる1,400haに及んでおりまどころの性格を表わしております。

産 業

この村の産業という場合、平凡ではあるが農業というものが代表的なものであり、産業別就業人口をみてもわかるように、就業者5,292人のうち81%にあたる4,292人は第1次産業に従事している。米は年間におよそ6,000t生産され、これも全部品質の良い水稻である。

農業所得のほとんどが米によるものであるため、時期的に収支がアンバランスになると同時に、仕事の面でも閑業が激しい、これを補うため、大部分の農家では、冬期にはかます織りなどをして、また若い人達は近くの工場へ働きに出て収入を得ている。米による収入がほとんどを占めているということは、現在のように政府が管理している場合は非常に安定しているといえるかも知れないが、それ自体が自由経済のなかにあつては変則的なものである。これに安住していることは危険なことでもある。そのため村では農業構造の改善には特に意を用

いており、農業経営を従来の米作1本槍から、西洋野菜の栽培や、家畜の飼育など多角経営とするとともに、農地の集団化を図り、能率的な農業経営を行なうよう強力に指導しているようです。また酪農、養豚、種豚、養蚕たばこ、野菜などの各組合に対しては、これらの育成強化を図るため財政的援助も行なっている。

まえにも記したとおり、この村には羽賀沼という沼がある、現在これを干拓し新しい土地を作り出そうと計画されており、昭和38年度からいよいよ国営事業として、この干拓事業が行なわれることになり完成すたば約100haの新田が生れ、これには村当局はじめ住民は大きな期待を寄せている。

教育文化

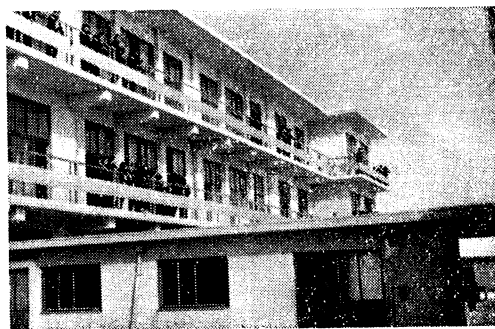
小学校は3校で旧村ごとにある。これらの学校はいずれも老朽化しているため、村では38年度の事業としてこれらの増改築を1,200万円の予算で行なう予定である。

中学校は、最近鉄筋コンクリート3階建の12教室の統合中学校が、2,600万円で完成したばかりで、同時に75坪の技術教室も完成、ここには職業訓練に必要な各種の機械が備えられている。また38年度には、新たに敷地200坪を買収し、屋内体育館を建設する計画である。

観光では、茨城百景の一つ柴崎の堰がある。ここは水田の灌漑及び排水に益するところが大きいと共に非常に風景のよいところであり釣場としても有名などころである。このほか釣場として新利根川も有名で、釣の季節には東京方面からも大公望がやつて来る。

おわりに大貫村長さんの言葉をかりむすびとしたい。

村長さんはしみじみと「この村は多年にわたつて政争の激しい村で、そのため住民はいろいろと迷惑をこうむっている、これからは派閥を解消し、明るい平和な村にしたい」といつておられました。



新利根中学校

市 町 村 の 横 顔

櫻 川 村

概 況

この村は稲敷郡の東北部に位し、東と南は東村に接し西は小野川を挟んで江戸崎町に接し、北は洋々たる霞ヶ浦を距てて行方郡と相對している。

地勢、風俗、産業、水利などを同じくする、旧古渡村浮島村が、町村合併促進法が施行されて間もない、昭和30年4月1日に合併し桜川村が誕生、31年9月にお隣の阿波村を編入し、面積31.08km²の村となった。

役場へは、江戸崎町から国鉄バス佐原行で約20分で桜川村役場（もとの古渡村役場）につく、交通には恵まれているほうでなく、このほかに、国鉄と参宮バスの浮島行があるだけ。

昭和35年の国勢調査による人口は8,900人で、前回にくらべ565人6%の減少を示している。産業別就業人口は第1次産業4,373人、第2次産業335人、第3次産業833人でその構成比はそれぞれ79%、6%、15%であり、圧倒的に農林水産業従事者が多く、米どころの性格を物語っている。

37年8月1日調の夏期農業基本調査結果によれば、農家戸数は1,306戸のうち専業農家は956戸で、広狭別では1.2ha~1.5haが214戸、1.5ha~2haで278戸で1.5haくらい経営している農家が最も多い。

産 業

就業人口の約8割が農業に従事していることからみれば、この村の代表的産業は農業といえよう。気候温暖で水利にも極めて恵まれている肥沃な土地からは、穀倉地帯に恥じない良質の農産物が生みだされる。

耕地面積の内訳をみると1,382haのうち70%にあたる967haは田、畑は344haで25%を占め、残りが樹園地となっている。米の収穫高は4,000tで収穫期も早く、早場米として出荷されている。大麦小麦は850tで農業収入は現在のところこれら穀類によるものがほとんどであるが、最近では酪農経営の指導によつて、豚、乳牛、鶏など家畜の飼養頭数も増加している、一方野菜あるいは園芸栽培も普及し、とくに浮島では西洋野菜「レタス」の栽培が盛んに行なわれるようになり、また浮島大根は古くから有名である。

水産業では霞ヶ浦から、鯉、鰻、公魚、白魚などが水

揚げされ農漁家の収入源となつている。

いずれにしても現在のところ所得水準の低い農業が中心であるが、村当局としては、豊富な霞ヶ浦の水を工業用水として利用し広大な土地に工場を誘致し工業化を図ろうとしており、工場用地として1号地~3号地まで93,000坪を予定している。この計画が実つた際には活気に満ちた工場地帯となることであろう。

教育文化

中学校はまだ統合されておらず旧村ごとにあり、生徒数708人1学級平均39人、小学校は4校で1,109人、1学級平均36人と小中学校共に1学級あたり生徒数では県平均を下回つており恵まれているといえよう。

そろそろ地方選挙も近づき、あの手この手の運動が展開されるわけであるが、これに先がけ村では婦人学級を中心に広く公明選挙話し合い運動を推進しており、有権者の政治への感心を高めると共に明朗な選挙が行なわれるよう各種の会合を利用して指導を行なつている。

浮島は利根川図誌の一節に「信太の浮島みどり涼しく浦のあなたに木立一すじ、引き渡したるよに見ゆ」と歌われているように、昔からその美しさが知られていたが、近年は、水郷夏のセンター、水泳場、キャンプ場の浮島となつて、レジャーブームに乗つて年々訪れる人は多くなり、待望の常磐線電化も実施し、土浦から快速船で一時間半、また浮島から麻生一牛堀一潮来一佐原間の船による周遊コースが利用できるよになつた。

昭和36年には桜川村観光協会が結成され、その後着々と観光開発を行なつているので、今後観光桜川として発展することも大いに期待されるでしょう。



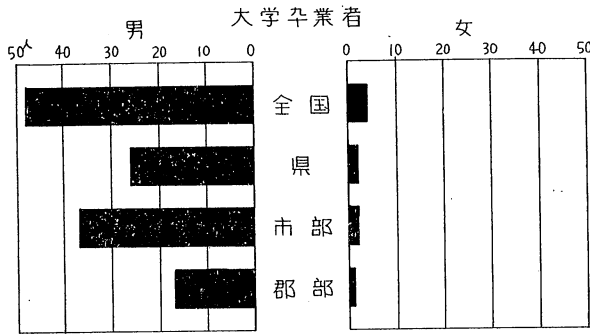
浮 島 水 の 家

教 育 程 度

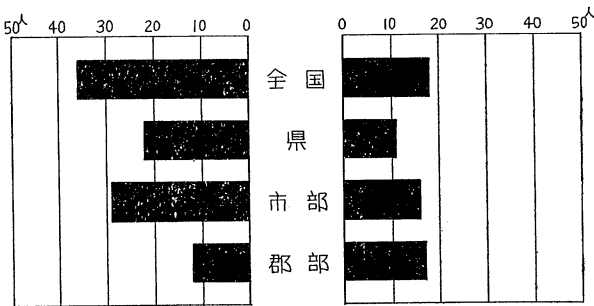
国あるいは一定の地域に住んでいる人達がどの程度の教育を受けているかということは、教育程度というものが、経済の水準や、産業または職業に密接なつながりを持つていることから極めて興味深いものがある。

昭和35年の国勢調査では教育に関して、現在、学校に在学しているか否かによって「未就学者」、「在学者」

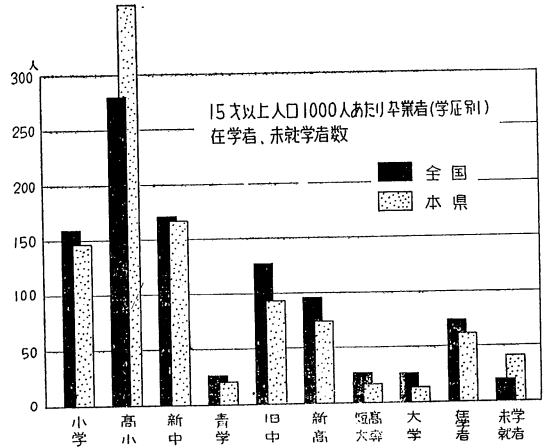
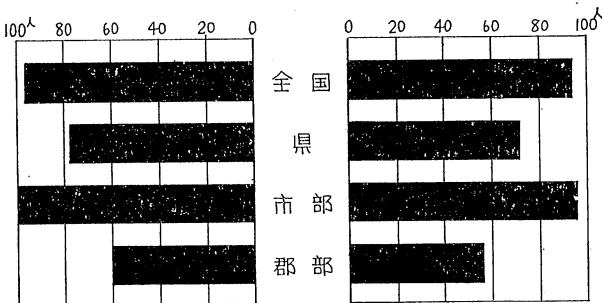
男女別15才以上人口1000人あたり



短大、高専卒業者



新 高 卒



「卒業生」に区分し、「卒業生」についてはその最終卒業学校の種類を調査した。その結果をみると、本県の15才以上人口 1,374,820人中43,060人は未就学者で、その率は3.1%、全国の2.2%を上回っている。また卒業生の学歴別では、大学、高専短大、旧中、新高など義務教育以上の教育を受けている人の割合は全国にくらべ低い、この傾向は、市部に対する郡部についてもあてはまることである。

また男女別の教育程度についてみると、本県で15才以上女子人口 1,000人中大卒卒業者は僅か2人であるのに、男子のそれは26人と男女間のひらきは相当にみられる。

ところが、短大、高専、更に新高卒というように学歴が低くなるに従って男女間の差はせばめられ、新高卒の場合15才人口 1,000人中男子は78人、女子は73とほとんど同じである。これは戦後男女同権の思想が徹底し、教育の機会均等が行なわれたためであろう。



人間雑話 (9)

茨城大学教授 塚本勝義

生まれて来て、すみません——これは太宰治の言葉だ。すつきりしている。爪の垢ほどのケレンもない。ありがたくつて美しい。自己の存在を冷静に、そして厳しく見究めた人でなければ、こんなきれいな言葉は出せない。つくづく考えると、生まれて来て、すまないことばかりしている。親には心配ばかりかけて育つ。大きくなれば、頼まれもしないのに涙でもない子供を作り出し、世間様にまで迷惑をかける。血の汗を流して貯めてくれた親の遺産を忽ちつかい果し、仏様にまではらはらせる。仕事も出来ないくせに文句を並べることばかりうまくなつて、傍の人々もどれほど迷惑することか。数え立てたら、すまない事だらけだ。

生まれて来て、すみません——といえる人が、もつと殖えてきたら、この世の中はどんなに穏かになることだろう。職場だつて、来る日も来る日も楽しく、そして嬉しくなることだろう。議員になつてすみません——と言ひ得る議員さんが増加したら、風向きは逆になつて、会期短縮の緊急動議がやたらに飛び出すかも知れぬ。

現代人には自信が有り過ぎる。恐縮する——という言葉は辞書にも載つてゐるし、ちらほら使われているものの調子が甚だ浮き立つてゐる。シンから恐縮した語感が出ていない。勿論、自信は必要だ。が、その自信は批判されたものでなければ危険だ。自信に似て、実は盲信でしかないからだ。自信は事を成すに役立ち、盲信は事を敗ることにのみ役立つ。古くさい漢文句調になつてしまつたが、間違つた言い方ではなさそうだ。

○ ○ ○ ○

人間は完成された生き物ではない。完成しようとして生きつづける生き物だ。しかも、死ぬまで完成されることがない。人類が地上に出現してから何年になるか判らんが、完成して死んだ人は一人もなからう。みんな中途半端で終着駅につきあつてしまう。

自分は完成したと信ずる人があつたら、片目と思つて間違いない。完成した面だけしか見えない人だから。もう一眼役に立つなら、きつと未完成の半面を見出すはずだから。両眼開いていて、自分は完成した男だ、わたしは完成した女です——と信ずるとしたら、とにかく一応診断の要がある。

未完成と知つたからこそ神や仏を考え始めたのであ

う。そして完成された神仏の姿にあこがれ始めたのであろう。ところが、その神仏の中にさえ未完成の要素がなくはないのであるから、所詮人間は、いかに背のびしてみたところで未完成から一步も出られないことが明らかだ。

○ ○ ○ ○

国際間に大問題がころげ出したときのジャーナリズムの批判を読むと、批判の基準が政治的、経済的、思想的の三に限定されているようだ。そして、その政治経済思想を動かす人間そのものへの批判が見られない。根源を忘れた枝葉末節の批判じやないかと言いたくなる。急所を外した批判であつては、筋が通つていようと、見事な単語がそろつていようと、中年女性の隣近所批判の類で決して問題の究明にならない。

ひとしきり、人間疎外という言葉が流行した。しかし現在も人間疎外は相変わらずつづいてゐるようだ。人間尊重を旗印にしながら人間疎外の政治論経済論思想論を強引に展開していると言つても言い過ぎでなさそうだから、人間復興を毎年くりかえす必要があらう。

○ ○ ○ ○

どうも近頃は解説ばかりだ。初心者にとつて解説は必要だ。無くてはならぬ道しるべだろう。けれども、何から何まで解説付きでは、うるさくて仕方ない。スポーツ放送にしたところで、いい勝負をじつと見つめていた。それなのに、わかつたようなことを、のべつ幕なしにべらべらやられるのだからたまつたものでない。親切は有難い。しかし過剰親切は、既に親切を通り越して、出しやばりであり、おせつかいである。

そればかりではない。おめでたくも、あの解説をマル暗記し、さも自分の見解でもあるかのように論じているのを耳にすると、さむざむとした感じにおそわれる。いつたいこんなに考える力が貧しくなつては、日本の将来はどうなるだろうと案じられる。

自分の両眼でにらみ、たとえ三角であろうと自分の頭で考えてこそ独立人であり、近代人であり、新しい人間であるはずだ。自我の確立されない人間なんて、およそ古くさい生き物だ。どうやら昨今の解説過剰は、いい生まれつきの男女を、若い男女を、日に日に古くさくしているようだ。